

# 平成30年度 第8回教育委員会協議会 次第

1 開催日時 平成30年9月5日(水) 18:00~20:30

2 場 所 高知共済会館 3階「桜」

3 内 容  
18:00~ 受 付

18:30~ 開 会

## 議 題

県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の「最終とりまとめ(パブリックコメント案)」  
について

(1) 全体・東部地域

(2) 中部地域(前半)

(3) 中部地域(後半)

(4) 北部地域

(5) 高吾地域

(6) 幡多地域

閉 会



(案)

県立高等学校再編振興計画

「後期実施計画」

(平成 31 年度～平成 35 年度)

〔最終とりまとめ

(パブリックコメント案)〕

平成 30 年 9 月

高知県教育委員会

# 目 次

|     |   |    |
|-----|---|----|
| I   | 県立高等学校再編振興計画について                          | 1  |
| II  | 計画の基本的な考え方 ※「県立高等学校再編振興計画」で策定済みのため割愛      |    |
| III | 前期実施計画 ※「前期実施計画」で策定済みのため割愛                |    |
| IV  | 後期実施計画                                    |    |
|     | ICTの活用による中山間地域の高校の教育の充実について               | 2  |
| 1   | 東部地域                                      | 4  |
| 2   | 中部地域                                      | 8  |
| 3   | 北部地域                                      | 23 |
| 4   | 高吾地域                                      | 27 |
| 5   | 幡多地域                                      | 32 |
|     | 資料  |    |
| 1   | 審議過程                                      | 42 |
| 2   | 県立高等学校及び県立中学校の改編等の実施状況                    | 44 |
| 3   | 地域別中学校卒業者数の推移                             | 46 |
| 4   | 平成31年度県立高等学校募集学級数別学校一覧                    | 47 |
| 5   | 平成31年度県立高等学校の学科及びコース一覧                    | 48 |
| 6   | 「県立高等学校再編振興計画」における適正な学校規模の維持と適切な学校の配置について | 49 |
| 7   | 安芸中学校・高等学校安芸桜ヶ丘高等学校の統合後の学校の姿              | 50 |

## I 県立高等学校再編振興計画について

「県立高等学校再編振興計画」は、平成 26 年度から平成 35 年度までの 10 年間の県立中学校・高等学校の在り方と方向性を示した「基本的な考え方」と、それに基づいて県立中学校・高等学校の再編振興を実現するための具体的な「実施計画」で構成する。

「実施計画」は、平成 35 年度までの 10 年間を、前期と後期の 2 期（前期：平成 26 年度～平成 30 年度、後期：平成 31 年度～平成 35 年度）に分けて策定する。今回の「実施計画」は「後期実施計画」とし、後期実施計画は、前期実施計画の実施期間中の適切な時期に策定する。

## II 計画の基本的な考え方 ※「県立高等学校再編振興計画」として平成 26 年 10 月に策定済み

## III 前期実施計画 ※「前期実施計画」として平成 26 年 10 月に策定済み

## IV 後期実施計画

本実施計画では県内を東部、中部、北部、高吾、幡多の 5 つの地域に分け、各学校を下表のとおり位置付けた。

| 地 域  | 学 校 名  |
|------|--|
| 東部地域 | 室戸高校、中芸高校、検討校（安芸中学校・高校、安芸桜ヶ丘高校）  |
| 中部地域 | 城山高校、山田高校、高知農業高校、高知東工業高校、岡豊高校、高知東高校、高知南中学校・高校、高知工業高校、高知追手前高校、高知丸の内高校、高知小津高校、高知北高校、高知西高校、高知国際中学校・高校、伊野商業高校、春野高校、高岡高校、高知海洋高校 |
| 北部地域 | 嶺北高校、高知追手前高校吾北分校   |
| 高吾地域 | 須崎総合高校、佐川高校、禰原高校、検討校（窪川高校、四万十高校）   |
| 幡多地域 | 大方高校、幡多農業高校、中村中学校・高校、中村高校西土佐分校、宿毛工業高校、宿毛高校、清水高校  |

また、本実施計画では中山間地域の学校の振興策として、特に ICT を活用する施策を推進するためその内容について下記に記載する。

## ICT の活用による中山間地域の高校の教育の充実について

### (1) 現状と課題

#### ア 大学進学に対応した教育環境の整備

中山間地域の小規模校は、生徒数が少なく教員の配置数が限られる中、就職から進学まで幅広い学力層の生徒に対応できる教育課程の編成が必要であり、中心部の大規模校のように、国公立大学の受験に必要な科目を全て開講することは困難な場合が多い。

#### イ 遠距離通学の負担の解消（中山間地域の人口減少にも影響）

最寄りの高等学校に通学するための公共交通機関が整っていない地域もあり、国公立大学等への進学を目指して地元を離れ中心部の進学校に進む生徒も多く、生徒と保護者の負担増に加え、中山間地域の一層の人口減少にもつながっている。

## (2) 目指す姿

「どの地域に住んでいても、誰もが迅速に同じ情報を得られる」という ICT の特性を最大限に活用し、教育環境の充実と中山間地域の活性化を図る。

### ア 地理的条件や学校規模の差に影響されない、充実した教育環境の実現

中山間地域の小規模校においても、難関大学への進学など希望する進路の実現に向けて、生徒が中心部の大規模校と同じ条件で学習できる教育環境が整う。

### イ 中山間地域の活性化

教育環境が課題となり、若い子育て世代が住み慣れた地域を離れ中心部に流出する現状に、歯止めをかけることができる。また、地元で活躍する高校生の増加は、中山間地域の活性化にもつながる。

### ウ 県外からの移住の促進

中山間地域の豊かな自然環境や人のあたたかさ、働きやすさ、子育てしやすさなどに魅力を感じ、本県に移住された世帯やこれから移住を希望する方々にとっても、安心して進学できる教育環境が確保される。

## (3) 現在の取組状況

### ア オンデマンド教材の活用

室戸高等学校、山田高等学校、嶺北高等学校、高知追手前高等学校吾北分校、須崎高等学校、佐川高等学校、窪川高等学校、檮原高等学校、四万十高等学校、中村高等学校西土佐分校、宿毛高等学校、清水高等学校

- ・郡部の大学進学を狙える上位層の生徒等が利用可能
- ・全ての科目を自由な時間に視聴可能

### イ 遠隔教育の実施

高知追手前高等学校と高知追手前高等学校吾北分校  
窪川高等学校と四万十高等学校  
岡豊高等学校と嶺北高等学校  
檮原高等学校と他の県立高等学校

- ・双方向のやりとりが可能であり、実際の授業に近い形態で実施
- ・一部の学校では授業の単位認定を実施

## (4) 今後の展開の方向性

### ア オンデマンド教材の活用

- ・学校の状況に合わせて、適切なオンデマンド教材の選定や、導入する学年や対象生徒を検討
- ・オンデマンド教材の活用に加えて、教員及び学習支援員による組織的な支援体制を構築
- ・生徒の更なる自主的な視聴利用の奨励

### イ 遠隔教育の実施

- ・県教育センターを配信拠点とした遠隔授業・補習授業を全ての中山間地域の高等学校に展開できるように、実施体制の構築や機器・通信網の整備を促進
- ・中山間地域でも充実した学習機会を確保するため、遠隔教育を活用して、放課後や週末等において、『専任の教員による進学指導講座の実施』を実現
- ・効果的な遠隔授業の導入を図るため、遠隔教育に対応した学習指導案の作成、各校間での教育課程や担当教員の調整、連携体制の構築など様々な調整を実施

# 1 東部地域

【東部地域】は、「室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村」とする。

## <公立中学校卒業生数の推移>

|         | H15.3(実績) | H25.3(実績)① | H30.3(実績)② | H35.3(推計)③ | ③-② |
|---------|-----------|------------|------------|------------|-----|
| 東 部 地 域 | 594       | 390        | 350        | 303        | △47 |

## <入学者の状況（全日制及び多部制昼間部）>

|         | H15  |      |       | H25  |      |       | H30  |      |       |
|---------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|
|         | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   |
| 室 戸 高 校 | 160  | 107  | 66.9% | 120  | 41   | 34.2% | 80   | 20   | 25.0% |
| 中 芸 高 校 | 80   | 44   | 55.0% | 40   | 21   | 52.5% | 40   | 19   | 47.5% |
| 安 芸 高 校 | 200  | 151  | 75.5% | 160  | 108  | 67.5% | 120  | 114  | 95.0% |
| 安芸桜ヶ丘高校 | 120  | 106  | 88.3% | 120  | 40   | 33.3% | 80   | 31   | 38.8% |
| 計       | 560  | 408  | 72.9% | 440  | 210  | 47.7% | 320  | 184  | 57.5% |

東部地域の中学校卒業生数は、平成30年3月には350人と、5年前に比べると40人減少（10.3%減）しており、平成35年3月には、さらに47人減少（13.4%減）し、303人と推計されている。

東部地域では、地域外の高校へ進学する生徒が多く、充足率も低下している。

今後、生徒数の減少を見据えながら、地域における教育活動を充実させていく必要がある。

学校が小規模化していく中で、東部地域において適正規模（4学級以上）を維持した中核的な学校が必要であることから、統合も含めた学校の在り方の検討が必要である。

|   | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|---|---------|---|
| 1 | 室 戸 高 校 | <p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域理解と地域の課題発見解決学習を行う「産業社会と人間(室戸学)」と「ジオパーク学」を地域に生かせる内容として更に充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパーク学では、地域貢献に関する学習の成果発表会の開催</li> <li>・ESD(持続可能な開発のための教育)の視点で、国内の世界ジオパーク地域の高校との交流</li> </ul> </li> <li>○地域のイベントや行事への協力、中学校との授業や学校行事での交流をこれまで以上に充実し、地域貢献活動や中学校との連携を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸中学校との放課後部活動の交流(バスケットボール、サッカー)</li> <li>・生徒会を主体とした合同ボランティアを年1回実施</li> <li>・海外への中学生と合同の短期留学の実施</li> </ul> </li> <li>○様々な学習歴の生徒へのきめ細かい指導ができるように教育課程を編成し、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語、数学、国語の習熟度別クラスの実施</li> <li>・国公立文系・理系向け選択科目の充実</li> <li>・福祉、家庭、工業、商業、芸術科目の選択科目の設置</li> </ul> </li> <li>○総合学科の内容、特にメリットを保護者や中学校に理解してもらうように広報活動を繰り返し実施していく。なお、総合学科の在り方については、検討が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科として維持するが、現在の4系列から3系列とするなど教育課程の見直しを行い、平成31年度から実施(家庭・福祉、商業、工業、芸術の選択科目は維持)</li> <li>・総合学科については、平成30年度を起算年として、3年連続して入学者が40人に満たない状況になった場合、単位制普通科への改編を検討</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【中山間地域にある学校に共通する項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTの活用等により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の授業のICT化を推進</li> <li>・大学進学希望者に対するICTを活用した学習教材の提供や学習支援員による補習の実施</li> </ul> </li> <li>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業等の実施による教員間の連携強化</li> <li>・生徒会活動や部活動の交流</li> </ul> </li> <li>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国ベスト4を目標に女子硬式野球部を活性化</li> <li>・寮の活用も含め部活動支援を更に充実</li> </ul> </li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高校教育の質を確保するための1学年2学級以上を下回って、1学級規模の入学者数となっていることから、上記の取組を通して、魅力ある学校づくりに取り組み、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の広報紙、小中学校の掲示板等を活用した教育活動の周知機会の拡大</li> </ul> </li> <li>○特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三修制の導入による学びの支援体制を整備</li> </ul> </li> <li>○地域の生涯学習の場として、聴講生用の講座を今後も開設する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市広報による地域への広報を充実</li> </ul> </li> </ul> |



|   | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|---|---------|---|
| 2 | 中 芸 高 校 | <p><b>【昼間部】</b></p> <p>○様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援等を通じて教育活動の充実を図り、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒に応じた教科間の連携（教員間の情報共有と連携）を図り、より個別化した生徒指導を充実</li> <li>・国公立大学等の進学に関しては、eラーニングなどの取組を検討</li> <li>・厳しい環境にある生徒が学習に取り組むための環境（家庭を含む）の整理をスクールカウンセラー（SC）やソーシャルワーカー（SSW）、若者サポートステーション等の外部機関との連携を通して実施</li> <li>・進路を見据えた、生徒個々のポートフォリオの作成を教員の支援のもと実施</li> </ul> <p>○不登校経験や発達障害のある生徒等に柔軟な対応ができる支援体制を整えた東部地域の学校として、地域からのニーズが高く、またその対応や支援に対する信頼と評価も高い。その期待に応える教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次生への充実した初期対応（出身中学校への聞き取り、保護者アンケート、保護者面談、三者面談、新入生宿泊研修、個人面接）を実施</li> <li>・生徒理解と支援のための取組（ソーシャルスキルトレーニング、個人面接、若者サポートステーションとの連携等）の実施</li> <li>・ピアサポートホーム（1、2年次生の合同クラス）を実施（3年次生は、学年単独のクラス編成）。</li> </ul> <p>○高校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育として、国の進める「通級による指導」を導入し、発達障害やその疑いのある生徒への支援体制を構築し、充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校との連携を更に推進</li> <li>・計画的で効率的な個別支援が行えるカリキュラムの充実</li> <li>・教員の特別支援教育の専門性を高める取組を充実</li> </ul> <p>○高等学校の質を維持していくための集団としての最低規模の特例である1学年1学級20人以上を入学者数を下回っていることから、上記の取組を通して、魅力ある学校づくりに取り組み、学校の周知をさらに行い、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部、中高等部のある特別支援学校の分校と同居しているメリットを生かす取組の推進（相互交流や研修の実施など）</li> <li>・中芸地区を学習のフィールドとした特色ある取組を実践</li> <li>・学校の教育活動をPRする広報活動を推進</li> </ul> <p>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</p> <p><b>【夜間部】</b></p> <p>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次生では、「学び直し」として0時間目を設定し、国語、数学、英語の授業を1年間通して実施。また、8月最終週に1週間、全学年で「学び直し（1学期の振り返り）」を実施</li> <li>・若者サポートステーションと連携し、各種の職業適性検査や面接指導を実施</li> <li>・スクールカウンセラー（SC）やソーシャルワーカー（SSW）と連携し、家庭との連絡を密に取る</li> </ul> <p>○地域の生涯学習の場として、聴講生用の講座を今後も開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5教科、情報、芸術科目等の講座を開講</li> <li>・履修・習得が認定された者には、学年末に修了証を交付</li> <li>・聴講生と在校生の交流活動の実施</li> </ul> |

|   | 学 校 名                | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|---|----------------------|---|
| 3 | 安 芸 高 校<br>安 芸 中 学 校 | <p>○東部地域の進学拠点校として、生徒の国公立大学や難関大学への進学を実現できる支援体制を充実し、学力の定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次からの習熟度別学習の実施や2年次からのコース制の導入</li> <li>・大学入試改革に対応するための授業改革の推進</li> <li>・土曜補習による全体指導や個別指導の更なる充実</li> </ul> <p>○進学に向けた取組の成果を他の学校にも普及することで県全体の進学指導力を向上させる牽引校とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地域を対象とした授業研修会の実施</li> <li>・高等学校教育研究会などの県全体での研修会での実践発表</li> </ul> <p>○併設型中高一貫教育校として、6年間の教育内容・教育活動を更に充実させるとともに、キャリア教育にも力を入れ、将来の東部地域を支え貢献できる人材の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験やキャリア講演、高校体験授業の実施</li> </ul> <p>○「東部地域の運動部活動強化拠点校（平成31年度までの指定）」として、充実した取組を行う。併せて、地域の強みや伝統を生かした運動部・文化部の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点部活動を設定した活動の充実</li> </ul> <p>〔中学校〕陸上競技、弓道、サッカー、吹奏楽、書道部、競技かるた<br/>〔高 校〕陸上競技、体操競技、弓道、剣道、卓球、ソフトテニス<br/>野球、男子バスケットボール、女子バレーボール、サッカー<br/>吹奏楽、書道部、競技かるた</p> <p>○安芸桜ヶ丘高等学校と統合することで適正規模を維持した学校を設け、東部地域における活力ある拠点校とする。なお、南海トラフ地震による津波への対応を踏まえて、統合後の学校は安芸桜ヶ丘高校の敷地に置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合する学校の在り方などについては、6ページと巻末資料50ページに記載</li> </ul> |
| 4 | 安芸桜ヶ丘高校              | <p>○工業科では、ものづくりや資格取得等の取組を進め、時代に即した技術者等の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり協議会やデザインコンペへの参加</li> <li>・資格取得を促す授業や補習の実施</li> </ul> <p>○商業科では、地場産業や地域観光の振興に寄与する、情報発信や商品開発ができる商業人材の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「商い甲子園」や「桜市」などへの参加</li> <li>・各種コンテストへの参加</li> </ul> <p>○これらの取組を通じ、地元産業の活性化に貢献する人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地域の市町村や地域の特産物などを題材にした活動</li> </ul> <p>○安芸高等学校と統合することで適正規模を維持した学校を設け、東部地域における活力ある拠点校とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合する学校の在り方などについては、6ページと巻末資料50ページに記載</li> </ul> <p>○安芸高等学校との統合を見据えた学科改編を平成34年度に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業科は1科2専攻：「機械・土木科（案）」（機械専攻、土木専攻）</li> <li>・商業科は1科：「商業探究科（案）」</li> </ul>   |

## 安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校との統合について

（スケジュール）

安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校とを統合し、適正規模を維持した新たな学校を設け、東部地域の活力ある拠点校とする。安芸桜ヶ丘高等学校の敷地に統合後の学校を設置する。

〔実施年度〕 ○統合に向けた学科改編 平成34年度

○統合完了 平成35年度

## ア 統合に向けた考え方

東部地域の生徒数の減少が続く中であっても、より良い教育環境を保証することができる適正規模の、1学年4学級規模以上の学校を維持することが重要であるが、安芸高等学校は生徒数が3学級規模、安芸桜ヶ丘高等学校は生徒数が1学級規模の学校となっている。

また、安芸中学校・高等学校は、南海トラフ地震による津波被害で長期浸水が予想されている地域であり、校舎自体が海岸に面していることもあり、他の県立中学校・高等学校よりリスクが高いことや被災後の早期の学校再開が困難となることが想定されていることから、津波被害から確実に生徒を守ることや被災後の学校の早期再開を考えると、移転が望ましい。

こうしたことを踏まえ、震災に強く、適正規模を維持した東部地域の活力ある拠点校を設けるため、安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校を統合し、統合後の中高一貫教育校を安芸桜ヶ丘高等学校の敷地に設置する。

## イ 目指す姿

統合後の中高一貫教育校は、進学指導の実績がある安芸高等学校と、就職に強い安芸桜ヶ丘高等学校のそれぞれの強みを生かし、さらに発展させることで、東部地域の進学拠点校として、大学進学等にも対応できる学力を保証するとともに、体験的な活動を通して勤労観・職業観を養い、進学から就職まで、生徒の多様な進路希望に対応する。

そのため、習熟度に応じた授業やきめ細かいカリキュラム編成による学習指導、国公立大学や難関私立大学の進学に、より対応できる教育課程を実施するとともに、工業科や商業科では、幅広い専門的な知識・技術を学びながら、専門分野を深く学ぶ体制を整え、職業教育の充実を図るとともに就職支援の強化を推進する。

また、地域を支える人材の育成を図るために、地域と連携した防災教育の推進や、安芸市を含む東部地域の地域おこし活動に取り組むことで、社会性や協調性の育成を図る。さらに、地域からのニーズと生徒の希望に応じた多様な部活動の充実や生徒会活動、体育祭・文化祭等の特別活動の充実を図ることで、生徒が切磋琢磨できる環境づくりを推進する。

こうした取組を進めていくことで、地域の方々から信頼され、地域内の中学校の生徒が行きたいと思う学校づくりを推進し、地域内の中学校からの進学率向上を目指す。

なお、併設中学校については、併設高等学校の3つの学科に進学できることとする。そのために、中学校段階から充実したキャリア教育を実施し、自分の将来について考えたうえで、進路選択できるよう体制を充実する。さらに、文武両道のもと、基礎基本となる学力の定着を図るとともに、部活動も充実させる。

## ウ 統合の方法

統合後の中学校は、2学級規模を予定しているが、統合前年度となる平成34年度の志願者数を踏まえて、最終的な募集定員を平成34年6月までに決定する。

統合後の高等学校は、全日制の課程で普通科3学級と工業科1学級、商業科1学級の1学年5学級規模とする。

統合にあたっては、安芸高等学校及び安芸桜ヶ丘高等学校とも、平成34年度入学生から学科改編を行い、新教育課程による教育内容を実施する。

統合は、平成35年4月1日に実施し、平成35年度入学生は統合後の学校で募集する。

統合後の学校の校名については、安芸中学校・高等学校とする。なお、その他の校章・校歌・制服・スクールカラー等の取扱いについては、両校の学校関係者等の意見も聴取しながら、制服については平成31年度10月末、それ以外の校章等については、平成33年度末までに県教育委員会で検討し、決定する。

## エ 教育環境の充実

統合までの間、地域と連携した取組や部活動を通じて、両校の生徒の交流を積極的に進めるとともに、学力向上や教員の指導力向上に向けた取組を進めていく。

また、ハード面の整備については、移転先となる安芸桜ヶ丘高等学校の通常教室となる校舎と体育館を津波対策を踏まえたものに改築する。さらに必要な実習棟などの改修や設備の更新なども行い、中高一貫教育校として充実した教育環境の整備等を行う。

## 2 中部地域

【中部地域】は、「香南市、香美市、南国市、高知市、いの町（旧伊野町）、土佐市」とする。  
 ※いの町（旧吾北村、旧本川村は【北部地域】に区分している。）

### <公立中学校卒業生数の推移>

|      | H15. 3 (実績) | H25. 3 (実績) ① | H30. 3 (実績) ② | H35. 3 (推計) ③ | ③-②   |
|------|-------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| 中部地域 | 4,208       | 3,587         | 3,340         | 3,089         | △ 251 |

### <入学者の状況（全日制及び多部制昼間部）>

|         | H15   |       |        | H25   |       |        | H30   |       |        |
|---------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
|         | 入学定員  | 入学者数  | 充足率    | 入学定員  | 入学者数  | 充足率    | 入学定員  | 入学者数  | 充足率    |
| 城山高校    | 80    | 37    | 46.3%  | 80    | 48    | 60.0%  | 80    | 29    | 36.3%  |
| 山田高校    | 200   | 158   | 79.0%  | 200   | 113   | 56.5%  | 200   | 106   | 53.0%  |
| 高知農業高校  | 280   | 234   | 83.6%  | 240   | 177   | 73.8%  | 240   | 203   | 84.6%  |
| 高知東工業高校 | 200   | 171   | 85.5%  | 200   | 152   | 76.0%  | 160   | 104   | 65.0%  |
| 岡豊高校    | 400   | 402   | 100.5% | 320   | 305   | 95.3%  | 320   | 305   | 95.3%  |
| 高知東高校   | 270   | 270   | 100.0% | 230   | 225   | 97.8%  | 230   | 230   | 100.0% |
| 高知南高校   | 240   | 240   | 100.0% | 240   | 218   | 90.8%  | 240   | 213   | 88.8%  |
| 高知工業高校  | 280   | 269   | 96.1%  | 280   | 265   | 94.6%  | 280   | 268   | 95.7%  |
| 高知追手前高校 | 280   | 286   | 102.1% | 280   | 280   | 100.0% | 280   | 281   | 100.4% |
| 高知丸の内高校 | 230   | 195   | 84.8%  | 180   | 180   | 100.0% | 180   | 171   | 95.0%  |
| 高知小津高校  | 320   | 319   | 99.7%  | 280   | 279   | 99.6%  | 280   | 266   | 95.0%  |
| 高知北高校   | 120   | 120   | 100.0% | 80    | 80    | 100.0% | 80    | 79    | 98.8%  |
| 高知西高校   | 320   | 320   | 100.0% | 280   | 280   | 100.0% | 280   | 280   | 100.0% |
| 伊野商業高校  | 200   | 198   | 99.0%  | 160   | 159   | 99.4%  | 160   | 120   | 75.0%  |
| 春野高校    | 160   | 137   | 85.6%  | 160   | 152   | 95.0%  | 160   | 122   | 76.3%  |
| 高岡高校    | 80    | 65    | 81.3%  | 80    | 47    | 58.8%  | 80    | 30    | 37.5%  |
| 高知海洋高校  | 120   | 66    | 55.0%  | 80    | 66    | 82.5%  | 80    | 36    | 45.0%  |
| 計       | 3,780 | 3,487 | 92.2%  | 3,370 | 3,026 | 89.8%  | 3,330 | 2,843 | 85.4%  |

中部地域の中学校卒業生数（高知大学附属中を含む）は、平成30年3月には3,340人と、5年前に比べると247人減少（6.9%減）しており、平成35年3月には、さらに251人減少（7.5%減）し、3,089人と推計されている。

高知市の高校は、他の地域から進学する生徒も多く、充足率も維持されているが、香美市、香南市、土佐市、いの町などの高校になると充足率は低くなっている。このまま、高知市への生徒の集中が続くと周辺地域の高校の入学者数の減少に拍車がかかり、学校運営への支障が懸念される。よって、こうした周辺地域の学校においては、今後、地域における教育活動を充実させていくことや、魅力ある学科やコースを設けるなど教育内容の充実を図る必要がある。

一方、高知市においては、平成33年度から高知国際高校の開校に伴う統合校の募集停止を行うことから、その影響も見据えながら、中部地域の各校の入学定員の見直しについては、検討をしていく必要がある。

|   | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|---|---------|--|
| 5 | 城 山 高 校 | <p>○不登校経験や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であることから、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援等を通じて教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒支援委員会の充実（月1回）</li> <li>・医師によるアドバイス</li> </ul> <p>○生徒へのきめ細かい指導ができるように教育課程を編成する。具体的には、学び直しの学校設定科目の設置・充実や進路希望に応じた科目選択を充実し、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設定科目として、「ベーシック数学」と「ベーシック英語」を導入</li> <li>・ICT を利用した基礎学力の定着</li> <li>・2年次からのコースである「社会福祉型」において、「介護職員初任者研修修了者」の資格取得を目指す教育内容を充実</li> </ul> <p>○高校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育として、国の進める「通級による指導」を導入し、発達障害やその疑いのある生徒への支援体制を構築し、充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設定科目として、「API(Activities to Promote Independent)：自立活動」を導入</li> <li>・API 担当者の指導力の向上を図る</li> </ul> <p>○地域貢献活動や中学校との連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアへの積極的な参加（地域のイベント等）</li> <li>・教育後援会を活用した学校づくりを推進</li> </ul> <p>○高校教育の質を確保するための1学年2学級以上を下回って、1学級規模の入学者数となっていることから、魅力ある学校づくりに取り組み、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベーシック数学」と「ベーシック英語」の導入〔再掲〕</li> <li>・ICT を利用した、基礎学力の定着〔再掲〕</li> <li>・ボランティアへの積極的な参加（地域のイベント等）〔再掲〕</li> </ul> <p>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</p> |

|   | 学校名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|---|------|---|
| 6 | 山田高校 | <p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中部地域の東部（香長地区）の進学拠点校として、地域をテーマとした課題発見解決学習や授業における探究的な学習を通して、国公立大学への進学者数を更に増加させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学拠点校として、平成 34 年度末には国公立大学への合格者を 50 人以上輩出</li> <li>・生徒一人一人に応じた学習の最適化を図る取組として、教育 AI（「エドテック」）の活用を検討</li> <li>・これまで行ってきた地域課題探究学習を更に進化・深化させた取組を推進</li> </ul> </li> <li>○「香美市学園都市構想」を踏まえ、香美市の小学校・中学校で培ってきた探究的な学習を高校全体としても更に発展・深化させる。その中で、高知工科大学との共同プログラム開発を含め、高大接続を図るための魅力ある探究科を新設し、平成 32 年度から開設する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間で 18 単位の探究活動の時間を確保するとともに、教科指導の充実・改善を徹底し、難関大学を受験する学力が身に付く教育課程を編成</li> <li>・ICT を活用した姉妹校及び連携校との国際交流活動、物部山道 40 キロ踏破、海外も含めた先端技術や最新研究に触れる研修旅行等の全人教育を実施</li> <li>・高知工科大学との共同プログラムとして、エドテックを活用したアダプティブ（パーソナライズ）学習を開発</li> <li>・文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業の指定申請を検討</li> </ul> </li> <li>○普通科については、コース別に特色ある教育課程を編成する。特に国公立大学への進学を実現できる支援体制の充実等を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンデマンド教材を活用し、進学学力の更なる向上を図る</li> <li>・1年次から、英検・数検・漢検の資格取得を奨励するとともに、英語のスピーキング技能とヒアリング技能を伸ばさせるためのインターネット教材を導入</li> <li>・教科指導に定評のある外部人材を招聘し、「土曜塾」や長期休業中の進学補習を開講</li> </ul> </li> <li>○商業科では地域と連携した取組を更に進め、地域産業の担い手を育成する。また、高知工科大学経済・マネジメント学群との連携を推進するとともに、高度な資格取得や起業家育成に向けた指導体制の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化に取り組む地元企業と連携・協働し、高校3年間を通じた「起業家育成プログラム」を開発・実践</li> <li>・グローバルな視点で商業活動を学ぶため、香港など経済的に発展したアジア圏への海外研修を実施</li> <li>・高度情報社会を担う商業人を育成するために、最先端の ICT を活用した授業を実践</li> </ul> </li> <li>○上記の取組を通して、高知市周辺校の核となる活力ある学校づくりを行う。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー（SC）やソーシャルワーカー（SSW）との連携を更に強化</li> <li>・自己管理ファイル等を活用した生活指導や進路指導を組織的に実施</li> <li>・職場訪問や職業体験を実施するとともに、実社会で役立つ資格取得も推進</li> </ul> </li> <li>○多様な生徒の居場所づくりとしての役割を果たす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会を中心とした学校行事の活性化</li> <li>・生徒生活体験発表会等の発表機会を積極的に設け、ソーシャルスキルを育成</li> <li>・夏期・冬期休業中に基礎補習等を実施</li> </ul> </li> </ul> |

|   | 学 校 名  | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|---|--------|--|
| 7 | 高知農業高校 | <p>○本県の農業教育を担う中心的な学校として、「農業を学ぶ」ことによる農業後継者の育成と併せて、「農業で学ぶ」という観点から、農業のもつ教育力を最大限に活用し、動植物の飼育栽培を通して、命の尊厳や豊かな心、感謝の心を育み、倫理観や規範意識などを重視した人材の育成を行うなどの教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業後継者の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆キャリアサポート事業や農林業インターンシップ事業の工夫及び活性化</li> <li>◆就業体験事業の活性化</li> <li>◆アグリマイスター制度への積極的なチャレンジ</li> </ul> </li> <li>・倫理観や規範意識などを重視した人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆清潔で安心・安全をモットーとする農場管理</li> <li>◆凡事徹底（時間厳守、気持ちの良い挨拶、整理整頓 など）</li> </ul> </li> </ul> <p>○地域の農業支援センターとして、地元農家や農業関連機関等との連携を図り、これまで蓄積した教育力を地域に還元する取組を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の農業支援センターとして <ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境制御装置を備えた次世代型ハウスの建設</li> <li>◆各種の実験実習の充実</li> <li>◆地域の課題解決に向けた研究及びプロジェクトの充実</li> </ul> </li> <li>・地元農家や農業関連機関等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆産業教育民間講師招へい事業の充実</li> <li>◆特別非常勤講師招へい事業の充実</li> <li>◆大学及び関連企業との共同研究</li> </ul> </li> <li>・教育力を地域に還元 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験学習の積極的な受け入れ</li> <li>◆対面販売、アンテナショップ及びふれあい市などの充実</li> <li>◆関連企業等との商品開発</li> </ul> </li> </ul> <p>○新しい生産技術やグローバル化による競争力、六次産業化等に対応できる高い専門技術や教養を身に付けることができるよう、農業生産工程管理（GAP）教育や、食品製造に関する HACCP 教育の内容の充実に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産工程管理（GAP）教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種研修会等への積極的な参加及び資格取得</li> <li>◆JGAP 取得に向けた取組への着手（水稲から）</li> </ul> </li> <li>・HACCP 教育の内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種研修会等への積極的な参加及び資格取得</li> <li>◆県内での講師招聘</li> </ul> </li> </ul> <p>○基礎学力の定着と専門力の育成を図り、就職と国公立大学等への進学希望にも応えられる指導体制と教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路補習の充実</li> <li>・習熟度学習の研究</li> <li>・各種研修会等への積極的な参加及び資格取得</li> </ul> <p>○「高知県産業振興計画」等、県の施策と連動した取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業大学校との連携強化</li> <li>・林業大学校との連携強化</li> <li>・小規模林業の推進における調査研究（ドローンの活用研究）</li> </ul> |

|   | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|---|---------|---|
| 8 | 高知東工業高校 | <p><b>【全日制】</b></p> <p>○機械系と電気系に特化した工業高校として、専門的な知識や技能を身に付け、実習や課題研究等により問題解決能力を備えた志ある産業人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した設備を駆使して、高度で個性的なものづくりの実践及び地域への貢献</li> <li>・デュアルシステムやインターンシップによる企業理解や産業とのマッチング活動</li> </ul> <p>○地域の企業や学校（小中高大）、地域行政機関等との連携や取組を通して、「ものづくり」の魅力を広く地域に発信し、社会に貢献できる人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携によるものづくり活動（ものづくり教室、イベント等）への積極的な参加</li> <li>・企業や地域の中学校に発信する課題研究報告会などの広報活動推進</li> </ul> <p>○基礎学力の定着と社会性の育成を図るとともに、きめ細かい指導ができるように教育課程を編成し、就職と国公立大学等への進学希望にも応えられる指導体制と教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望進路に向けた選択教科などの教育課程や個別・少人数による進路補習の充実</li> <li>・図書活動の活性化による読解力の向上</li> <li>・ユニバーサルデザイン教育（特別支援教育）の導入</li> </ul> <p>○「高知県産業振興計画」等、県の施策や地元企業等と連動した取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第3期高知県産業振興計画」の基本目標である県内就職の促進</li> <li>・基本方向における産業人材育成のために、企業を知る事業（企業見学、外部講師招聘等）の活用と拡大</li> </ul> <p>○部活動の活性化を図り、学級経営や授業改善と連携を取ることで、学力向上や人間性の資質・能力向上に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率の向上及び中学校との部活動交流</li> <li>・生徒情報の共有システム構築</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <p>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時に就職内定を得られる（在学中からの）就労支援</li> </ul> <p>○基礎学力の定着とともに、勤労観や職業観を身に付ける取組等、一人一人へのきめ細かな教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者サポートステーションとの連携によるキャリア教育の推進</li> </ul> |



|    | 学校名   | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|-------|--|
| 9  | 岡豊高校  | <p>○多様な学習を可能にする教育課程のもと、生徒の進路希望に応じた多様な学びを提供し、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。また、外部講師による公務員講座を活用し、地域を担う人材を育成し、公務員として地域を支える人材を輩出することにも重点を置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学補習、公務員講座の充実</li> <li>・ステップアップ講座等による基礎学力の向上</li> </ul> <p>○「中部地域の運動部活動強化拠点校（平成31年度までの指定）」であり、また、体育コース・芸術コースの専門性を生かして、運動・文化の両分野にわたり、部活動を更に活性化して、心身を鍛え、個性を伸長し将来社会で活躍できる人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間管理を重視した部活動の効率化</li> <li>・運動部活動指導員事業、部活動サポート事業の活用</li> </ul> <p>○学校の特色を生かした地域連携を推進し、地域との交流を深めキャリア教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材を活用した（就労意識を高める）講演や体験活動の奨励</li> </ul> <p>○1年次からのコース制は、近年、定員を充足できていないなどの課題も見られることから、本校の特色を生かしながら、将来の方向性をどうするべきか、コース制の在り方や教育課程の見直しを検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程と現コース制の検証</li> </ul> <p>○大規模校のメリットを生かして、遠隔授業等に取り組み、小規模校等の教育活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択科目等における遠隔授業の活用</li> </ul> |
| 10 | 高知東高校 | <p>○幅広い選択科目から進路にあった科目を学習する総合学科の特色を生かした教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科の良さを生かし、大学進学など生徒の多様な進路希望に合った科目を分かりやすく選択できるよう教育課程を編成</li> <li>・新学習指導要領への移行を考慮した教育課程の編成</li> <li>・総合学科について、中学生やその保護者の理解を促進するための体験入学、中学生への説明会の充実</li> </ul> <p>○多様な進路希望に対応できるカリキュラムを生かした進路指導により、教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業社会と人間」、総合的な学習の時間「立志」の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆進路を意識した3年間を見通した系統的なカリキュラムの編成</li> <li>◆企業や外部機関・外部人材を活用し、多彩な学びができるプログラム（職業観・勤労観の育成）の実施</li> </ul> </li> </ul> <p>○看護科は、専攻科とあわせて5年間の一貫教育による看護師養成を行い、医療機関と連携した実習や授業内容の充実を図ることにより、将来、看護師として活躍できる人材を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護実習先病院や看護専攻科における充実した外部講師の確保</li> <li>・看護師国家試験対応のための情報収集と分析（合格率100%維持）</li> </ul> <p>○立地する地域の実態や伝統を生かした連携を図る取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・98豪雨での被災の記憶を継承し、それを生かした防災教育を推進</li> <li>・地元の地域行事への協力・参加を通じた地域貢献活動の推進</li> </ul> |

|    | 学 校 名           | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|-----------------|--|
| 11 | 高知南高校<br>高知南中学校 | <p>○これまで取り組んできたキャリア教育と国際理解教育の更なる充実を図り、将来の進路を実現できる確かな学力とともに、語学力や課題解決能力を身に付け、将来、グローバル人材として活躍できる人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を中高6年間の教育プログラムで実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆中学校では、1年生で職業調べ、2年生で5日間の職場体験と成果発表会を実施</li> <li>◆高校1年では、MMM（南マネジメント学習に向けて）を実施し、地方が抱える課題について考察</li> <li>◆高校2年生では、マネジメント学習として、高知県及び地域の課題を取り上げ、地域の活性化について、研究・調査・成果発表を実施</li> </ul> </li> </ul> <p>○グローバル教育として、探究型学習と英語教育プログラムの更なる充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョン万次郎の生き方を学ぶ取組として、高知海洋高校海援丸の協力を得て土佐清水市を訪問し、万次郎の生き方と日本で最初の国際人としての学習を実施</li> <li>・インターナショナルデイ及び留学生受け入れによる交流・海外修学旅行・海外語学研修等を実施</li> </ul> <p>○生徒数の減少への対応、グローバル人材の育成、南海トラフ地震への備えのため高知西高校と統合し、平成35年度に高知国際中学校・高校として統合完了となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究型学習と英語教育プログラムの取組を更に充実させ、県内への普及と啓発を目的に、グローバル教育研究発表会を実施</li> <li>・探究型学習では、「主体的対話的な深い学び」に繋がる学習として、知識構成型ジグソー法授業を用いて、生徒の主体的な課題解決学習を実施</li> <li>・英語教育プログラムでは、4技能の育成・CAN-DOリストの見直し・指導と評価の一体化等を検証し、制度の向上を図る</li> <li>・ALTとの英会話「エース・アカデミー」を週2回実施</li> </ul> <p>○平成33年3月以降の高知南中学校の卒業生については、基本的に高知国際高校の普通科に入学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では、平成33年度以降、高知国際高等学校にスムーズに入学できるよう高い学力を身に付けさせるための授業改善を推進</li> <li>・中学校では、全クラスで完全「たてもち授業」を実施</li> <li>・教科会を定期的に行い、生徒の学習定着度の確認と検証を行いながら授業を実践</li> </ul> |

|    | 学 校 名  | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|--------|--|
| 12 | 高知工業高校 | <p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○工業学科をもつ学校の拠点校として、体験的・課題解決的な学習を通して地域や我が国の工業技術の発展やものづくりに貢献する人材を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー養成塾やTEAM研修の実施</li> <li>・技術競技会や各種コンペ等の指導体制の充実・強化</li> <li>・全工協 Jr マイスター取得に向けた指導の充実</li> </ul> </li> <li>○高知工科大学と連携した探究型学習などを行うとともに、高度な資格取得に向けた指導体制を充実する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知工科大学をメインにし、他の関係機関とも連携強化</li> <li>・総合的な学習「探究」の充実</li> <li>・資格の難度ランク別に各科で指導体制を確立</li> </ul> </li> <li>○「中部地域の運動部活動強化拠点校（平成31年度までの指定）」として、競技力の向上を図るなど、運動部活動の振興を通じた特色ある学校づくりに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生対象の体験入部を実施</li> <li>・部活動と補習等との調整機能の強化</li> <li>・スポーツ医・科学に基づく適切な運動部活動の実施</li> </ul> </li> <li>○工業教育の牽引役として、就職と国公立大学等への進学希望にも応えられる指導体制と教育活動の充実に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続・発展可能な基礎学力の定着を実現する教育課程の研究・作成</li> <li>・全工協の評価手法実践研究校指定を活用し工業科の評価・指導方法の確立</li> <li>・組織的な、進学後の学習に耐えうる基礎学力の定着指導と公務員対策指導</li> </ul> </li> <li>○「高知県産業振興計画」等、県の施策や地元企業等と連動した取組を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各科の課題研究や研究活動で地元企業や関係機関と連携した取組の強化</li> <li>・地元企業の一層の理解に向けた取組の充実</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアノートの活用</li> <li>・校内一斉基礎学力試験の実施（年5回）と事後指導の充実</li> <li>・登校時の挨拶運動</li> </ul> </li> <li>○専修コースや編入制度などの活用により、高い専門性を身に付けることや資格取得を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術競技大会、コンテストへの積極的な参加</li> <li>・国家資格の取得に向けた補習指導</li> <li>・企業技術者による技術指導</li> </ul> </li> </ul> |

|    | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|---------|---|
| 13 | 高知追手前高校 | <p>○全ての教育活動を通して、奮闘努力の精神と、幅広い教養や探究する力、高い活用力を身に付け、将来にわたって自立的、持続的に、自他の幸福を目指す「志」の追求と実現に取り組むことができる生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決型探究活動を実施し、学びに向かう力・人間性、思考力・判断力・表現力をしっかりと育成する取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高大接続改革の流れを踏まえた探究活動を取り組んでいる先進校に、生徒自らが情報収集、体験に出向く機会の確保</li> <li>◆3年間の系統的キャリア教育プログラム「レオプロジェクト（総合的な学習の時間及びLHR）」のバージョンアップ</li> </ul> </li> </ul> <p>○グローバル化した社会において、国際的に活躍できる人材の育成のみならず、我が国の科学技術の発展を支える人材や、地域を支え貢献できる人材の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決型探究活動を実施し、学びに向かう力・人間性、思考力・判断力・表現力をしっかりと育成する取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高大接続改革の流れを踏まえた探究活動を取り組んでいる先進校に、生徒自らが情報収集、体験に出向く機会の確保〔再掲〕</li> <li>◆3年間の系統的キャリア教育プログラム「レオプロジェクト（総合的な学習の時間及びLHR）」のバージョンアップ〔再掲〕</li> </ul> </li> </ul> <p>○県民の強い期待に応える進学拠点校としての取組を更に充実させるとともに、県全体の大学進学に向けた指導力を向上させる牽引役を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器の活用による授業の質の向上</li> <li>・難関大学への進学率向上のため、各教員の教科指導のレベルアップ及び校内進学指導体制を強化</li> </ul> <p>○「遠隔教育」の中核をなす学校として、遠隔授業に取り組み、吾北分校の学力向上など教育活動の充実を積極的に支援するとともに、小規模校等の教育活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吾北分校のICT化に連動した本校側のハード面の充実</li> <li>・配信される大学進学講座等を担当する講師の指導力向上</li> </ul> |

|    | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|---------|---|
| 14 | 高知丸の内高校 | <p>○志をもち、「夢の実現」に向かう、知・徳・体の学力向上・基本的生活習慣・社会性を育成することで、国公立大学への進学から就職まで、生徒が希望する多様な進路の実現を図り、「社会に貢献できる人づくり」を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慶応義塾大学 SFC「論理コミュニケーション」講座を導入（総合的な学習の時間）し、「まる手帳」の一層の活用と併せて、論理的に「聴く」・「書く（構築する）」・「伝える」力を核とする学力の向上を図る</li> <li>・「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」（文部科学省指定事業）終了後も、組織的な授業改善の取組を継続・発展させ、「考えさせる発問・作問」等の研究を推進</li> <li>・多種多様な選択科目の設定やそれによる少人数講座の利点、大学等との連携授業など単位制の特色を生かし、生徒の進路希望に応じた教育課程を編成</li> </ul> <p>○高知市の中心地街、高知県立大学の真向かいに位置するという立地を生かし、それぞれとの連携を進めることで魅力ある学校づくりを一層推進するとともに探究的な学習に取り組み（総合的な学習の時間）、地域社会に貢献する意識と実践力とを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県立大学・高知工科大学との高大接続を推進し、学業（学習支援、講座等）・ボランティア活動等の教育活動を充実</li> <li>・高知市の中心地にある立地を生かし、帯屋町商店街、大橋通商店街等との連携活動を推進し、地域社会に貢献する活動を充実</li> </ul> <p>○実績ある文系・体育系の活動を更に充実させることで、学校の魅力化を一層推進し、安定した生徒募集に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子ソフトボール部は、全国レベルの大会での入賞を目指すとともに、全日本代表選手を輩出</li> <li>・カヌー部は、全国レベルの大会での入賞を目標</li> <li>・囲碁将棋、吹奏楽部等は、大会でのワンランク上の入賞を目標</li> </ul> <p>○音楽科は、専門科目の学習や音楽大学と連携した授業により技術の向上に努めるとともに、音楽活動を通じて豊かな感性をもった生徒の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声楽（合唱）、器楽（合奏）それぞれの力量の向上を図り、各コンクールで全国大会出場を目標</li> <li>・音楽科設置 50 周年事業として、定期演奏会、文化祭における演奏会等の一層の充実</li> </ul> <p>○上記の取組を通して、「点から線、線から面への教育活動」を充実させ、高知市中心地に位置するという特色を生かした活力ある学校づくりを行う。</p> |
| 15 | 高知小津高校  | <p>○理数教育の拠点校として、スーパーサイエンスハイスクール事業に学校全体で取り組み、グローバルに活躍できる人材の育成に努めるとともに、本県の理数教育を牽引する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーサイエンスハイスクール事業を核として、学校全体で ICT を活用した授業改善を実践</li> </ul> <p>○理数科については、スーパーサイエンスハイスクール事業の中心的な役割を担うとともに、将来、理数系分野の技術者として活躍できる人材を育成するための教育活動の充実に努める。また、その教育内容についても広く中学生や保護者へ周知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーサイエンスハイスクール事業の取組の生徒発表機会の増加</li> <li>・ホームページ等での情報発信</li> <li>・中学生一日体験入学や「小学生のための科学実験講座」を実施</li> </ul> <p>○難関大学を含む国公立大学への進学実績を向上させ、進路保障の充実に努めるとともに、進学拠点校としてその成果を他の学校にも普及することで県全体の進学指導力を向上させる牽引校とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身が教えあい、学びあうという学びの意識を校風として醸成</li> <li>・各教員が校内学力検討会の目標値を指標として授業力の向上に取り組む</li> </ul>  |

|    | 学 校 名 | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|-------|--|
| 16 | 高知北高校 | <p><b>【昼間部】</b></p> <p>○様々な学習歴をもつ生徒に対する学び直しの場としての役割を果たすとともに、きめ細かな支援体制を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学び直し講座（共通講座）「やさしい英語」、「やさしい数学」の充実と基礎科目による学び直しの取組を強化</li> <li>・生徒面談（年2回）の活用による支援体制（スクールカウンセラー（SC）・ソーシャルワーカー（SSW））への繋がりサポートや、必要に応じた声掛け・見守りを実施し、学年会・プチ会での協議を行ったうえで支援に移行</li> <li>・生徒支援の記録のデータ化（共有化）、支援会（学年会・プチ会・支援会）と外部組織との連携</li> </ul> <p>○多様なニーズのある生徒に応じたきめ細かな支援を行い、社会的スキルを向上させる学習を取り入れることで、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次での具体的な進路指導を2年次からに組み入れ、生徒への働きかけを進路指導部・学年団で実施</li> <li>・生徒の多様性の把握に努め、個々の生徒の対応について、家庭との連携を密に学年団・進路指導部と協議し指導を実施</li> <li>・若者サポートステーションとの連携や就職アドバイザー、スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用により、コミュニケーション能力を基盤にキャリア教育を推進</li> </ul> <p><b>【夜間部】</b></p> <p>○働きながら学ぶことや様々な学習歴をもつ生徒に対する学び直しの場としての役割を果たすとともに、きめ細かな支援体制を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制高校の特徴を生かし、少人数での授業の充実を図り、生徒一人ひとりの学習状況を踏まえながら「わかる授業」を実施</li> <li>・「学習支援員事業」を活用し、主要教科でチームティーチング（TT）を実施することで生徒一人ひとりの学習状況を把握し、授業改善に努める</li> <li>・毎時間、授業にプリント等の補助教材を積極的に取り入れ、生徒一人ひとりの学習での「つまずき」の改善に努める</li> </ul> <p>○多様な生徒の居場所づくりや、限られた時間を活用して学ぶ取組を推進することで、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒理解のためのアンケートを実施（年2回）し、生徒一人ひとりの居場所の有無の確認と支援策を外部機関の協力を得ながら実施</li> <li>・若者サポートステーション等の外部機関との連携を積極的に推進</li> <li>・生徒会活動の活性化を図ることで、他校との交流（リーダー研修等）や文化祭等のイベントを実施</li> </ul> <p><b>【通信制】</b></p> <p>○様々な学習歴をもつ生徒に対する支援を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒支援において、校内研修やケース会を実施</li> <li>・生徒の自立支援のため、若者サポートステーションや教育研究所等外部機関と連携・協力を推進</li> </ul> <p>○計画的な学習を確実に継続できる生徒の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細かいレポートの添削指導やユニバーサルデザインを意識したスクーリングの改善を推進</li> <li>・生徒必携の必読や新入生に学習の仕方を理解させるためのDVDの視聴を北高通信を活用して周知</li> <li>・学校行事や特別活動を通じて、挨拶やルールを守る等基本的な社会的マナーを身に付けさせる取組を実施</li> </ul> |

|    | 学 校 名             | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|-------------------|---|
| 17 | 高知西高校             | <p>○スーパーグローバルハイスクール事業などのグローバル教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサーチペーパーの作成など対主体的・対話的で深い学びにつながる探究的な学習の定着や、4技能の習得を目指した英語教育の充実などを図るグローバル教育の推進</li> <li>・姉妹校への長期留学をはじめ、オーストラリアやイギリスでの語学研修など海外経験をする機会の充実</li> <li>・平成31年度で指定が終了するスーパーグローバルハイスクール事業については、新たな国の指定事業を見据えながら、その成果を生かした取組を推進</li> </ul> <p>○進学拠点校としての取組を充実し、その成果を他の学校にも普及することで県全体の進学指導力を向上させる牽引校とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台タブレットを実現し、学習や評価をICT化することで、学習の効率化を図る</li> </ul> <p>○生徒数の減少への対応、グローバル人材の育成、南海トラフ地震への備えのため高知南中学校・高校と統合し、平成35年度に高知国際中学校・高校として統合完了となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合に向けて部活動の一層の充実を図るため、施設・設備を整備</li> </ul>  |
| 18 | 高知国際高校<br>高知国際中学校 | <p>○グローバル教育の牽引校として、探究型学習とキャリア教育を推進し、地域や国際社会の発展に貢献できるグローバル人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台タブレットPCの活用</li> </ul> <p>○国際バカロレア（IB）の教育プログラムに基づいた教育活動を行い、外国の人々と協働できる高い英語運用能力と探究力やバランスのとれた国際感覚と行動力を育成する教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際バカロレア教育の先進校での英語授業の実践からの学び、評価の比較検討を実施</li> <li>・IB公式校内ワークショップの実施</li> <li>・スクールカウンセラー（SC）、外部講師、外部機関の専門家との連携強化</li> </ul> <p>○進学拠点校として、難関大学を含む国公立大学や医学部への進学を支援する。また、IBコースにおいては、国際バカロレア資格を生かした受験を想定し、国内外のグローバル化に重点を置く大学への進学に対応できる力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学習のよさを生かすことのできる高大接続に関する調査研究</li> <li>・DP、MYPの授業の質を高めるための研究</li> <li>・国際バカロレア教育の先進校との連携、情報共有</li> </ul> <p>○国際バカロレア（IB）のミドル・イヤーズ・プログラム（MYP）は平成32年8月に、ディプロマ・プログラム（DP）は平成33年4月に認定校になることを目指す。（平成33年4月高知国際高校開校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IB公式DPワークショップへの参加</li> <li>・国際バカロレア教育の先進校への教員の派遣</li> <li>・国際バカロレア教育の先進校からの情報収集</li> </ul> |

|    | 学 校 名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|--------|---|
| 19 | 伊野商業高校 | <p>○商業教育の拠点校として、実習や資格取得の取組等を通じて、教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数制指導、チームティーチング（TT）を組み合わせ、基礎から発展まで体系的な学習指導を実施</li> <li>・放課後や長期休業中の補習授業を充実させ、多様な資格取得にチャレンジさせる体制を整備</li> <li>・産業におけるビジネス教育の在り方を追究し、コース・プラン等の再構築を含め、社会に開かれた教育課程を実践</li> </ul> <p>○行政や大学、企業等と連携し、地域の課題を発見し、ビジネス的な視点からその解決策を検討し行動する取組などを通じて、キャリア教育を推進し、働く意欲と能力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業教科の授業において、大学や企業、専門学校からの講師を招き、実践的なビジネス教育に触れる機会を創設</li> <li>・「課題研究」では、地域の課題を扱う時間を創設し、地域の行政や地域振興に携わるNPO等からの指導助言をいただく機会を設置</li> </ul> <p>○基礎学力の定着と専門力の育成を図り、就職と国公立大学等への進学にも応えられる指導体制と教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の普通教科（5教科）の授業において、習熟度別学習を実施</li> <li>・全学年を通じて、生徒が主体的に取り組む授業を実践</li> <li>・ハローワークや企業、大学、専門学校の説明会を校内で開催</li> </ul> <p>○「高知県産業振興計画」等を鑑み、県内観光ビジネスへ貢献する取組を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来より実施してきた地域貢献活動や、観光産業への諸活動について、多様な評価を得られる機会を設置</li> </ul>  |
| 20 | 春野高校   | <p>○総合学科の特性を生かした、実践的・体験的な学習を通して、これからの社会を生き抜くために必要な基礎学力の定着と自己管理能力を育成し、高知県を支える人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆1年次の国語、数学、英語の学び直しと習熟度別クラスの実施</li> <li>◆全校朝読書、新聞学習の実施</li> <li>◆自学ノートの活用による家庭学習時間の確保</li> </ul> </li> <li>・自己管理能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全校生徒によるキャリアノートの活用</li> <li>◆キャリアパスポートの取組</li> </ul> </li> </ul> <p>○総合学科の特徴である、系列によるカリキュラムを生かした指導を充実させ、多様な進路指導に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業社会と人間」、「なすことによって学ぶプロジェクト（総学）」の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域理解、ボランティア活動の充実</li> <li>◆企業理解、インターンシップの充実</li> </ul> </li> <li>・多様な進路実現に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自由選択科目の充実</li> <li>◆各種検定資格取得の推進</li> <li>◆進路補習の充実、個別対応に向けた進路学習室の整備</li> </ul> </li> </ul> <p>○これまで培ってきた農業教育をはじめ各系列の特色を活かした取組により、各事業所、施設、保育園等との連携を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発等の特色ある連携活動の充実</li> <li>・年間を通じた計画的な連携</li> </ul> <p>○総合学科の内容、特にメリットを保護者や中学校に理解してもらうように広報を練り直し、学校の周知を更に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある学習成果発表の充実</li> <li>・ホームページと広報活動の充実</li> </ul> |



|    | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|---------|--|
| 21 | 高 岡 高 校 | <p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校経験や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であることから、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援等を通じて教育活動の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出身中学校や市町村、病院などの外部団体との連携を強化</li> <li>・学校のユニバーサルデザイン化をハード・ソフト両面から充実</li> </ul> </li> <li>○国公立大学等への進学から就職まで、幅広い進路希望先に応える教育課程の設定と進路指導体制の確立を目指す。特に、少人数の利点を生かし、生徒個々の進路希望先に合わせた指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に対応させながら、本校の現状に即した教育課程の編成を工夫</li> <li>・ICTの活用等、生徒個々の学習習熟度や進路希望に合わせた個別学習ができる環境整備を実施</li> </ul> </li> <li>○「総合的な学習の時間」で、地域や行政との連携をより強め、生徒自身の人生設計や将来ビジョンを養い、現在の学ぶ意欲につながるキャリア教育を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材や団体・機関等と連携した「総合的な学習の時間」の展開を発展・拡大させ、地域に根差した学校づくりを推進</li> </ul> </li> <li>○高校生が地元小中学校に出向いて出前授業をしたり、地域イベントに積極的に参加するなど、地域貢献できる体験を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市役所や青年団等と連携し、地元の取組に積極的に関わり、地域の若者として、各種イベントに参加し、地域貢献の機会を増やす</li> </ul> </li> <li>○高校教育の質を確保するための1学年2学級以上を下回って、1学級規模の入学者数となっていることから、魅力ある学校づくりに取り組み、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校（生徒）の活動を広報・宣伝するために、学校ホームページの充実や、地域の施設に生徒の作品などを展示する機会を増やす</li> <li>・地元中学生などにアンケート調査を実施し、地元の生の声を学校運営に生かす</li> </ul> </li> <li>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出身中学校や市町村、福祉団体等と連携しながら、生徒個々の成育背景や家庭環境など、それぞれの生徒の実態に合った支援を実施し、卒業後の社会につなげる</li> <li>・地元企業と連携して、現役生徒の勤労の場を提供していただきながら、卒業後の就職先としても協力を願う</li> </ul> </li> <li>○多様な生徒の居場所づくりとしての役割を果たす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任とスクールカウンセラー（SC）や養護教諭などが連携し、外部機関の支援も得ながら、生徒の実態に合った支援を実施</li> </ul> </li> </ul> |

|    | 学 校 名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|--------|---|
| 22 | 高知海洋高校 | <p>○食品・航海・機関のコース別インターンシップや土佐海援丸の航海実習などを通じて、職業観や勤労観の育成に努めるとともに、地域の産業界と連携した体験型学習や地域産業の担い手育成のための資格取得の取組を充実させ、併せて豊かな人間性を育てる取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟航海、インターンシップ（6月）の実施</li> <li>・地域産業と連携したインターンシップ（10月、1月）の実施</li> </ul> <p>○小中学校との連携を図り、児童生徒が水産分野に興味・関心をもつことができるような取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元小学校体験航海（6月）、高知南中学校生徒会航海（11月）、中学生体験航海（11月）の実施</li> <li>・須崎市立浦ノ内中学校体験学習（7月）の実施</li> <li>・県内小学校出前授業（2月）の実施</li> </ul> <p>○基礎学力の定着と専門力の育成を図り、就職と専攻科や国公立大学等への進学希望にも応えられる指導体制と教育活動の充実を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援員による放課後補習（1年次：国語、数学、英語 2年次：数学）の実施</li> <li>・進路指導部による進路補習（3年次：5・6・7月 2年次：1・2月）の実施</li> <li>・放課ホームノート及び確認テスト（全学年：年間）の実施</li> </ul> <p>○土佐市や「高知県産業振興計画」等の県の施策との連携を図り、地域資源活用の取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市連携による浦ノ内湾アサリの食害対策を目的とした食品開発</li> <li>・高知県の「渚泊事業」における一本釣りウルメ、イワシの商品開発</li> </ul> <p>○水産高校という特性から、教育活動を行ううえで海沿いに校舎を構える必要があるが、現在の校地は、津波による被害が想定される立地であるため、地域と連携した避難訓練等の実施やBCP（事業継続計画）の策定等のソフト面と同時に、避難場所を確実に確保するとともに、避難場所へ向かう避難路の安全確保を徹底して行うなど、ハード面の整備を実施する。</p> <p>なお、南海トラフ地震による津波への対応のため、適地への移転の可能性も含め、将来の学校の在り方を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト面では、避難訓練及び防災講話の実施（月1回）、専門力を生かした防災ベンチ・備蓄食品・防災缶詰の製作、避難のための経路・方法・場所・防災食等あらゆることを想定した防災訓練（年3回）、ハード面では、校内の施設・設備の整備点検を実施</li> <li>・複数の防災の専門家による現地検証を行い、必要な対策の実施と避難マニュアルを作成</li> <li>・避難路周辺の家屋やブロック塀の倒壊による避難路の遮断を防ぐため、家屋等の所有者への耐震対策や補助制度の周知など、県や市町村による防災対策の実施</li> </ul> |

### 3 北部地域

【北部地域】は、「本山町、土佐町、大川村、大豊町、いの町（旧吾北村、本川村）」とする。  
 ※いの町（旧伊野町）は、【中部地域】に区分している。

#### <公立中学校卒業生数の推移>

|      | H15.3 (実績) | H25.3 (実績) ① | H30.3 (実績) ② | H35.3 (推計) ③ | ③-②  |
|------|------------|--------------|--------------|--------------|------|
| 北部地域 | 182        | 104          | 76           | 60           | △ 16 |

#### <入学者の状況（全日制）>

|      | H15  |      |       | H25  |      |       | H30  |      |       |
|------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|
|      | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   |
| 嶺北高校 | 80   | 54   | 67.5% | 80   | 44   | 55.0% | 80   | 17   | 21.3% |
| 吾北分校 | 40   | 19   | 47.5% | 40   | 21   | 52.5% | 40   | 6    | 15.0% |
| 計    | 120  | 73   | 60.8% | 120  | 65   | 54.2% | 120  | 23   | 19.2% |

北部地域の中学校卒業生数は、平成30年3月には76人と、5年前に比べると28人減少（26.9%減）しており、平成35年3月には、現在よりさらに16人減少（21.1%減）し、60人と推計されている。

北部地域では、地域外の高校へ進学する生徒も多く、充足率も低くなっている。

今後、地域における教育活動を充実させていくことや、魅力ある学科やコースを設けるなど教育内容の充実を図る必要がある。

|    | 学校名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|------|---|
| 23 | 嶺北高校 | <p>○連携型中高一貫教育を推進するとともに、地域との連携を更に発展させ、地域活性化に向けた取組を推進する。また、生徒の自主活動組織（高校生の地域貢献活動）により、生徒の積極性、自主性を育成する活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高教員による「嶺北 10 年 CAN-DO リスト」の共同研究（国語、数学、英語）</li> <li>・地元中学校との共同開催行事の充実（学園祭、体育祭、その他）</li> <li>・自主活動「高校生レストラン」の開催による地域貢献</li> </ul> <p>○少人数の利点を生かして、国公立大学等への進学から就職まで、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治体との連携による「公設町営塾」、「オンライン英会話スクール」の開校</li> <li>・持続可能な地域に求められる高等学校として、「海外」、「進路」、「小中学校」、「地域の未来と幸福」につながる新教育課程を平成 34 年度新入生から開始</li> </ul> <p>○「遠隔教育」等を通じて、生徒の進路希望に応じた選択科目の設置など、教育機会の確保や多様かつ高度な教育に触れる機会を提供することで、教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業の更なる推進</li> <li>・県教育センターをハブ（配信拠点）とした多様な選択科目の配信授業及び放課後の補習や進学講座への配信を活用</li> </ul> <p>○カヌー部の活動については、自治体の協力を得て、地域外からも生徒を受け入れることができる体制を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治体の高校支援につながる取組（町営寮や地域外生徒サポート制度の整備）などと連携して、カヌー部の受け入れ体制を整備</li> <li>・「サマー・スクール」（中学生のための体験入学）の開催</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【中山間地域にある学校に共通する項目】</b></p> <p>○ICT の活用により 4 年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT を活用したプロジェクト型探究学習の推進</li> </ul> <p>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「起業家育成プログラム」と連携した「総合的な学習の時間」の構築</li> <li>・部活動及び農業コースと商業コースの活性化</li> <li>・地元自治体による「嶺北高校海外研修制度」の新設</li> </ul> <p>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌー部の全国大会での上位入賞を目標</li> </ul> </div> <p>○高校としての教育の質を維持していくための集団としての最低規模の特例である 1 学年 1 学級 20 人以上を入学者数が下回っていることから、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「県外学校説明会」及び「PTA 主催学校説明会」の開催</li> <li>・『学校案内』、『嶺高だより』、『自主活動集』、ビデオによる学校紹介の徹底</li> </ul> <p>○特例として 1 学年 1 学級（20 人以上）を最低規模とする。</p> |

|    | 学校名             | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|-----------------|---|
| 24 | 高知追手前高校<br>吾北分校 | <p>○少人数の利点を生かして、国公立大学等への進学から就職まで、生徒の希望する進路実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取組1」ICTの活用による学校の中での生徒の個別最適化が図られた学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆タブレットPCを一人一台配付し、個々の生徒が自由に学習できる環境の整備</li> <li>◆個々の生徒の学習進度や進路希望に応じた教育課程の編成</li> </ul> </li> <li>・「取組2」遠隔教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆本校からの配信授業を活用した大学進学（文系・理系）対応の選択科目の充実</li> <li>◆教育センターをハブ（配信拠点）とした多様な選択科目の配信授業及び放課後の補習や進学講座への配信活用</li> </ul> </li> </ul> <p>○高知追手前高校本校との「遠隔教育」を通じて、生徒の進路希望に応じた教育機会の確保と多様かつ高度な教育に触れる機会の提供を通して、教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取組2」〔再掲〕</li> </ul> <p>○本校と分校の相互交流については、授業のみならず、学校行事や課外活動等での生徒間の交流を更に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の合同練習や日常的な学校行事での交流の推進</li> <li>・両校の生徒会を中心とした生徒主体による学校行事等の運営</li> </ul> <p>○地域の特性を生かした交流活動を通じて、地域との連携を強化し学校教育活動の充実を図るとともに、地域の唯一の高等学校としての役割を見える化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取組3」地元産業の活性化に向けた取組や地元食材を活用した商品開発など、地元の題材を利用した体験的課題解決学習を教育課程に位置付け、地域を理解し、地域を活性化できるリーダーを養成</li> <li>・「取組4」地元のいの町立吾北中学校と吾北分校の相互の教員による、教育課程に位置付けられた交流授業の実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>〔中山間地域にある学校に共通する項目〕</b></p> <p>○ICTの活用等により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取組1」「取組2」〔再掲〕</li> </ul> <p>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取組3」「取組4」〔再掲〕</li> </ul> <p>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取組3」「取組4」〔再掲〕</li> <li>・「取組5」部活動の活性化により、県ナンバー1を目標（ソフトボール、バトミントン） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆いの町との連携による中高合同の部活動の強化</li> <li>◆専門顧問の配置及び高い専門性を持った外部指導者の定期的な指導の確保</li> </ul> </li> <li>・〔取組6〕いの町との連携した取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆いの町の高校支援の取組（寮整備の検討や通学できる交通機関の確保）などと連携し、地域外からの生徒受け入れ体制を整備</li> </ul> </li> </ul> </div> <p>○分校として、高校教育の質を維持していくための最低規模である1学年1学級20人以上を連続して入学者数が下回っていることから、上記の取組を通して、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取組5」「取組6」〔再掲〕</li> </ul> |

## 高知追手前高等学校吾北分校について

高知追手前高等学校吾北分校については、基本的に継続する。

### 考え方

分校の「2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合、その翌年からの募集停止を検討する」の最低規模の基準については、「県立高等学校再編振興計画」策定までの協議内容を踏まえると、基準としては尊重するが、分校は小規模ということが前提になっていることから、本校との連携、分校としての振興策、地域からの支援などを含め、「後期実施計画」の実施期間（平成31年度～平成35年度）中は、その取組の成果を検証しながら、高知追手前高等学校吾北分校については、基本的に継続する。

#### 4 高吾地域

【高吾地域】は、「須崎市、仁淀川町、中土佐町、日高村、佐川町、越知町、梶原町、津野町、四万十町」とする。

##### <公立中学校卒業生数の推移>

|      | H15.3(実績) | H25.3(実績)① | H30.3(実績)② | H35.3(推計)③ | ③-②  |
|------|-----------|------------|------------|------------|------|
| 高吾地域 | 1,007     | 741        | 595        | 487        | △108 |

##### <入学者の状況(全日制)>

|        | H15  |      |       | H25  |      |       | H30  |      |       |
|--------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|
|        | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   |
| 須崎工業高校 | 120  | 83   | 69.2% | 160  | 108  | 67.5% | 120  | 98   | 81.7% |
| 須崎高校   | 200  | 187  | 93.5% | 160  | 109  | 68.1% | 120  | 75   | 62.5% |
| 佐川高校   | 120  | 103  | 85.8% | 120  | 45   | 37.5% | 80   | 38   | 47.5% |
| 窪川高校   | 120  | 89   | 74.2% | 80   | 27   | 33.8% | 80   | 25   | 31.3% |
| 梶原高校   | 80   | 43   | 53.8% | 80   | 35   | 43.8% | 80   | 41   | 51.3% |
| 四万十高校  | 80   | 52   | 65.0% | 80   | 23   | 28.8% | 80   | 18   | 22.5% |
| 計      | 720  | 557  | 77.4% | 680  | 347  | 51.0% | 560  | 295  | 52.7% |

高吾地域の中学校卒業生数は、平成30年3月には595人と、5年前に比べると146人減少(24.5%減)しており、平成35年3月には、さらに108人減少(18.2%減)し、487人と推計されている。

高吾地域では、地域外の高校へ進学する生徒が多く、充足率も低下している。

今後、生徒数の減少を見据えながら、地域における教育活動を充実させていく必要がある。

学校が小規模化していく中で、地理的な側面も配慮しながら、高校教育の質の確保をしていく必要性があることから、統合も含めた学校の在り方の検討が必要である。

|    | 学 校 名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|--------|---|
| 25 | 須崎総合高校 | <p><b>【全日制】</b></p> <p>○高吾地域の進学や就職、産業教育、部活動の拠点校として、充実した教育活動を展開し、その成果を地域内でも共有することで、高吾地域の牽引校となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間・課題研究発表会（普通科・工業科）の実施</li> <li>・広報活動（出前授業、学校情報誌発行、ホームページの活用）の充実</li> <li>・部活動加入率の促進</li> </ul> <p>○普通科においては、進学拠点校として、大学進学等にも対応できる学力を保証し、国公立大学への進学を実現できる支援体制の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学拠点校として、平成35年度末には、国公立大学への合格者30人以上輩出</li> <li>・進学補習やキャリア教育の充実（進路講演会などの開催）</li> <li>・教員の指導力向上（教師カブラッシュアップ事業、進学協議会の研修会への参加）</li> </ul> <p>○工業科においては、ものづくりや資格取得の取組、地域と連携した取組等を通じて、キャリア教育を更に推進し、就職を主とした進路希望の実現を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ事業（スキルアップ講習会、インターンシップ、企業見学）の活用</li> <li>・資格取得にチャレンジする生徒の意識の醸成と指導体制の充実</li> </ul> <p>○「高知県産業振興計画」等、県の施策や地元企業等と連動した取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりを通じた地域連携の推進</li> <li>・社会人として必要とされる知識や技能を習得した人材づくりのための、企業と連携した教育活動の実践</li> </ul> <p>○ドラゴンカヌー等の地域おこし活動や防災教育を進め、将来の地域を支える人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラゴンカヌー（校内大会、ドラゴン甲子園）の取組の継続</li> <li>・防災避難訓練（避難経路調査、HUG〔避難所運営訓練〕）の充実</li> <li>・夏休み親子体験教室の開催</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <p>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在学中の就業指導の充実</li> <li>・就職・進学指導体制の強化</li> <li>・基礎学力向上のための学び直しの授業実践</li> </ul> <p>○多様な生徒の居場所づくりとしての役割を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング体制の強化</li> <li>・いじめや暴力を許さない学校を実現するための講演や指導の徹底</li> <li>・自己肯定感の向上を図る学校行事や体験学習などの充実</li> </ul> |



|    | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|---------|---|
| 26 | 佐 川 高 校 | <p><b>【全日制】</b></p> <p>○地域の多様な生徒の実態を踏まえて、生徒一人一人の夢の実現を目指し、高い志を持ち創造的で豊かな人間性と地域社会に貢献できる逞しさを備えた人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域定住意識の醸成や社会人基礎力の育成を目標に「いのち輝け～さくら咲くプロジェクト～」を実施</li> </ul> <p>○基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の町村からの拠出を原資としたチャレンジ制度を検定料の全額補助だけでなく進学補習の講師料や海外留学などに拡充</li> </ul> <p>○ふるさと教育から地域課題学習を一層推進して地域を担う人材の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば農林業への担い手を増やす方策など、様々な地域課題を学ぶ</li> <li>・学校支援地域本部事業を活用し、地域連携コーディネーターや高知大学と連携</li> <li>・佐川町、仁淀川町、越知町、日高村で現地訪問学習を行い、地域での課題研究活動をまとめ、発表会を行い、地域の未来への提言を実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【中山間地域にある学校に共通する項目】</b></p> <p>○ICTの活用等により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業システムを利用し、難関大合格を目指す学習環境を整備</li> </ul> <p>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高交流による教職員及び生徒の情報交換会、学習会を実施</li> <li>・地域の中学校からの進学率を向上させるため、教職員及び生徒の交流を計画する中高代表者を創設〔再掲〕</li> </ul> <p>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎天文台や木星電波、地質の宝庫佐川町を生かした天文地学部を創部し、小中高生による継続した研究を実施</li> <li>・男子ソフトボール部を活性化するため、全国大会優勝を目指し、クラブチームや大学生、日本代表との合同練習を実施</li> </ul> </div> <p>○高校教育の質を確保するための1学年2学級を下回って、1学級規模の入学者数となっていることから、魅力ある学校づくりの取組として、地域中学校への啓発周知を更に行い、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高交流による教職員及び生徒の情報交換会、学習会を実施</li> <li>・地域の中学校からの進学率を向上させるため、教職員及び生徒の交流を計画する中高代表者を創設</li> </ul> <p>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</p> <p><b>【定時制】</b></p> <p>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生活状況や進路希望等に応じた、面談などの個別指導を実施</li> </ul> <p>○多様な生徒の居場所づくりとしての役割を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のことを学習する「佐川学」を実施</li> <li>・「佐川町地域支援ネットワーク」に参加し、地域と連携した生徒育成を推進</li> </ul> |

|    | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|---------|--|
| 27 | 窪 川 高 校 | <p>○コース制によるきめ細かい指導など、多様なニーズをもつ生徒への支援体制を強化する取組等を通じて、授業を大切にしている意識を醸成し、教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域リーダー養成コース：農業系と商業系の教育課程の見直しによる実践的な指導（例：資格取得、起業家育成、インターンシップ 地域課題探究）</li> <li>・進学コース：大学進学補習、夏季休業中の県外大学訪問及び企業研修の実施</li> <li>・公開授業の推進と県内外からの講師招聘による指導力向上</li> </ul> <p>○地域や中学校との連携、県内外の大学との協働を通じて、地域の普通科高校としての魅力ある取組を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元中学との連携したカリキュラムマネジメントの取組</li> <li>・部活動での協働（音楽部他）</li> <li>・地域課題解決学習を通じた地域との連携</li> </ul> <p>○公設町営塾の活用や遠隔授業の実施により、教育機会の確保や多様かつ高度な教育に触れる機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公設町営塾「じゆうく。」において、個別学力指導や探究学習を実施</li> <li>・遠隔教育システムを利用した難関大学受験に対応できる学力育成</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>〔中山間地域にある学校に共通する項目〕</b></p> <p>○ICTの活用等により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校との協働による進路指導（面接、集団討論、進路検討会）</li> <li>・主体的な学習態度を育成する授業</li> <li>・オンデマンド教材をより活用し、個々の学力向上を図る体制を構築</li> </ul> <p>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「四万十町児童・生徒育成プラン（仮）」と連動し、四万十町の後期中等教育を支えるカリキュラムを開発</li> <li>・魅力化PRコーディネーター及び地域コーディネーターによる情報発信</li> <li>・教科、部活動及び地域貢献等の連携（地元中学校進学率50%）</li> </ul> <p>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽部及びサッカー部の活動を更に強化</li> <li>・四万十町による高校支援策等の発信力強化</li> </ul> </div> <p>○高校教育の質を確保するための1学年2学級以上を下回って、1学級規模の入学者数となっていることから、魅力ある学校づくりに取り組み、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内外からの生徒数確保に努める取組を推進</li> <li>・県及び四万十町と連携した振興策を推進</li> </ul> <p>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</p> |

|    | 学校名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|------|---|
| 28 | 梶原高校 | <p>○「生徒一人一人の夢の実現を目指し、個性を尊重しつつ社会人として真の学力・生きる力を持った梶原人の育成」のため、学校設定教科として地域の社会資源を活用しながら、地域と一体となった地域学習「YELL プロジェクト」を行い、将来の自分の進路や仕事について考えられる力を育成するキャリア教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校をPRする商品開発やPV制作</li> <li>・地元の特産品を使った和菓子を「雲の上の図書館」で販売</li> <li>・梶原町の学びの一貫性（保・幼・小・中・高）を持った継続した教育体系を更に充実させ、中山間地域小規模高校のモデル校となり、「わざわざ梶原へ」を実現</li> </ul> <p>○小規模校の最大の利点である少人数を生かした授業を核に各種の補習、添削、面談等のきめ細かな指導を行い、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力測定の実績結果等に基づき個人の進捗や能力、学習課題等に応じた指導計画のPDCAサイクルを構築</li> <li>・平成31年度から理系・文系大学進学に対応できる教育課程を編成</li> </ul> <p>○平成30年度から「遠隔教育」を導入し、国公立大学や難関私立大学受験に対応した授業や補習の実施に向けて取り組み、教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療系大学・難関大学への進学希望にも対応できる「個別の学習計画」を作成</li> <li>・遠隔教育を活用したプロジェクトの組織化</li> <li>・ICT環境を整備し、学習機会の充実を図り、個別最良化された学びを提供</li> </ul> <p>○地域と連携して部活動を通しての魅力化も図り、特に、中学校との連携による活動を推進する。体育系では野球、アーチェリー、バスケットボール等、文化系では津野山神楽等の特色ある部活動を中心に成果を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梶原中学校と東津野中学校との連携を更に深め、学力の定着と6年間を見通した進路指導を実施</li> <li>・神楽の共同開催や地域行事への共同参加を推進</li> <li>・対外試合、交流試合等による強化策を推進</li> </ul> <p>○高校の活性化につながる梶原町の取組（寮の整備）などについて支援していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野球部を中心に地域外の生徒の受け入れ体制を整備</li> <li>・地域と地域外の交流の場としても活用</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>〔中山間地域にある学校に共通する項目〕</b></p> <p>○ICTの活用等により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・到達度テスト等を活用し、難関大学等の受験に必要な学習をプログラミングし提供</li> <li>・遠隔教育システムを利用した他校との交流により、英語ディベート力、スピーキングスキルの向上を図る</li> </ul> <p>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携型中高一貫教育校の利点を生かし、6年間での学びのエコシステムを構築</li> <li>・連携中学校と合同による「地域に貢献できる活動等」を通して中高の一体感を醸成することにより、連携中からの進学率7割以上を維持</li> </ul> <p>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野球部の取組を充実し、今以上に地域外の生徒の入学を促進</li> <li>・高校、地域及び行政が一体となって魅力ある学校づくりに取り組んでいる成果を広報活動等によってPR</li> </ul> </div> <p>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</p> |

|    | 学 校 名     | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|-----------|---|
| 29 | 四 万 十 高 校 | <p>○連携型中高一貫教育を継続するとともに、小・中学校PTAなど地域とともに生徒育成の取組等を通じて教育活動の充実を図り、生涯を通して学び・働き、地域の伝統文化の担い手となる生徒の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(小) 中高一貫教育での教科指導による学力向上対策を実施</li> <li>・小学校から繋がった「夢・志」を育てるキャリア教育の推進</li> <li>・地域行事やボランティア活動等への参画</li> </ul> <p>○森林組合や農業関連事業者へのインターンシップや地域との連携を通して、農業・林業技術者や地域製品の加工・販売業など地域の産業への関心を深め、就職につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境コースにおける環境保全に関する実践学習</li> <li>・地域資源を用いた地元起業家等との連携学習</li> <li>・環境調査や農林業での活用に向けたドローン技術の習得</li> </ul> <p>○公設町営塾の活用や遠隔授業の実施、教育機会の確保や多様かつ高度な教育に触れる機会を提供する。また、ソフトボールを中心とした部活動の振興や、音楽を通じた活性化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や公設町営塾「じゆうく。」と連携した探究学習や海外研修及び進路指導の充実</li> <li>・ソフトボール部や音楽部（ジャズ）に、一流の指導者を招聘して技術指導を行い、全国レベルの大会での優勝が目標</li> <li>・近隣の県立高等学校と連携した教育活動（屋久島研修、関西研修、生徒会交流サマーキャンプ）の実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【中山間地域にある学校に共通する項目】</b></p> <p>○ICTの活用等により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員配置が困難な科目で、生徒の興味関心や進学希望に応じた遠隔授業での履修を実施</li> <li>・インターネット学習教材の活用と学力分析ツールを用いた進学指導の充実</li> <li>・地域行事やボランティア活動等への参画〔再掲〕</li> </ul> <p>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「四万十町児童・生徒育成プラン（仮）」の策定</li> <li>・授業や部活動、学校・地域行事による連携〔再掲〕</li> <li>・小中学校の児童生徒及び保護者に向けた学校説明会の開催</li> </ul> <p>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模高等学校振興会議の設置・活用による生徒募集力の向上</li> <li>・魅力化PRコーディネーターの活用と、生活支援コーディネーターの配置（検討）による体制強化</li> <li>・生徒募集に関する情報（寮を含む）を全国に発信する方法の確立</li> </ul> </div> <p>○高校としての教育の質を維持していくための集団としての最低規模の特例である1学年1学級20人以上を入学者数が下回っていることから、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県及び四万十町の協力による情報発信等、学校の魅力の十分な周知に努め、地域内外からの生徒数確保に努める取組を推進</li> <li>・県及び四万十町と連携した振興策を推進</li> </ul> <p>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</p> |

## 窪川高等学校と四万十高等学校の在り方について

窪川高等学校と四万十高等学校については、条件付で継続する。

### ア 考え方

窪川高等学校、四万十高等学校については、1校としての規模が小さく、現在は両校あわせても実質1学級規模の生徒しかおらず、生徒の多様な学習ニーズや集団生活による社会性の育成、部活動等において、高校教育の質を確保することが難しい状況がある。

また、将来的にも生徒数が減少していくことが予測されており、それに伴い学校規模が縮小していけば、学校の活力が低下していくことが考えられる。将来の子どもたちのために、今後も充実した教育活動を維持していくためには、一定の規模（生徒数）を持って、活力ある教育活動を展開することが必要である。

一方で、高等学校は、地域における子どもたちの教育の重要な拠点であるとともに、住民の生活にも関わる大切な施設である。特に中山間地域においては、地域を支える人材の育成という点で、その存在意義はより大きなものがあり、さらには、中山間振興の核ともなり得ることから、少子化の中にあっても可能な限りその機能の維持、拡充を図ることが重要である。

これらのことを踏まえ、地域に根差した学校として、様々な教育活動に取り組んできた窪川高等学校と、連携型中高一貫教育を通じて、中学校や小中学校PTAなどとともに生徒育成に取り組んできた四万十高等学校を地方創生の核として、生徒が「やりたいこと」を見つけられる高等学校として、地域の良さを学びコミュニティを支える人材を育成することを目的に、地域振興の核としての高等学校の機能を強化する。

### イ 目指す姿

高等学校は、地域人材の育成において極めて重要な役割を担うとともに、高等学校段階で地域の産業や文化等への理解を深めることは、その後の地元定着やUターン等にも資する。

このため、高等学校が地域と連携しながら、地域課題の解決等を通じた探究的な学びを提供するカリキュラムの構築等を行うとともに、インターンシップの充実等を通じて地域の魅力に触れられる取組を推進し、地域に根差した人材の育成を図る。

また、地域貢献活動などにより地域に活力をもたらし、移住促進に向けた施策や地域活性化の施策を展開できるよう、活力ある教育活動を展開する。

そして、地域の方々から信頼され、地域内の中学校の生徒が行きたいと思う学校づくりを推進し、地域内の中学校からの進学率向上を目指す。

また、四万十町と連携しながら振興策に取り組み、地域外からの生徒の確保にも努める。

### ウ 条件

今後、教育課程の見直しや、学校・地域による振興策の取組によっても、定員充足状況が改善されず、継続的な教育効果が得られないと判断された場合は、窪川高等学校と四万十高等学校を統合し校地を一本化するなど、教育の質の向上に必要な対策を講じることとする。

## 5 幡多地域

【幡多地域】は、「宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町」とする。

### <公立中学校卒業生数の推移>

|      | H15.3(実績) | H25.3(実績)① | H30.3(実績)② | H35.3(推計)③ | ③-②  |
|------|-----------|------------|------------|------------|------|
| 幡多地域 | 1,117     | 817        | 701        | 570        | △131 |

### <入学者の状況(全日制及び多部制昼間部)>

|        | H15   |      |       | H25  |      |       | H30  |      |       |
|--------|-------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|
|        | 入学定員  | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   | 入学定員 | 入学者数 | 充足率   |
| 大方高校   | 80    | 52   | 65.0% | 80   | 35   | 43.8% | 80   | 25   | 31.3% |
| 幡多農業高校 | 160   | 145  | 90.6% | 160  | 121  | 75.6% | 160  | 126  | 78.8% |
| 中村高校   | 240   | 234  | 97.5% | 200  | 182  | 91.0% | 200  | 158  | 79.0% |
| 西土佐分校  | 40    | 30   | 75.0% | 40   | 7    | 17.5% | 40   | 10   | 25.0% |
| 宿毛工業高校 | 210   | 191  | 91.0% | 160  | 114  | 71.3% | 160  | 121  | 75.6% |
| 宿毛高校   | 160   | 152  | 95.0% | 160  | 110  | 68.8% | 120  | 81   | 67.5% |
| 清水高校   | 120   | 94   | 78.3% | 80   | 74   | 92.5% | 80   | 34   | 42.5% |
| 計      | 1,010 | 898  | 88.9% | 880  | 643  | 73.1% | 840  | 555  | 66.1% |

幡多地域の中学校卒業生数は、平成30年3月には701人と、5年前に比べると116人減少(14.2%減)しており、平成35年3月には、さらに131人減少(18.7%減)し、570人と推計されている。

幡多地域では、地域外の高校へ進学する生徒は、他の地域に比べると少ないが、近年は増加しており、充足率は低下してきている。

今後、生徒数の減少を見据えながら、地域における教育活動を充実させていく必要がある。

|    | 学校名  | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|------|--|
| 30 | 大方高校 | <p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援を行うために、教育課程や教育方法の改善による基礎学力の定着と進路実現を可能にする取組等を通じて、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上・定着化と放課後加力補習の充実</li> <li>・定期的な小中学校との連携(授業研究等)に基づく授業改善の推進</li> </ul> </li> <li>○コミュニティスクールとして、学校運営協議会を通じて行政機関等とも協働し、課題解決学習である「地域学」や、社会性を育成するための活動の取組を推進することで、将来、地域社会で活躍できる人材の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の起業家等との出会いを通じた自分の「あり方生き方」を考えるキャリア教育の推進と、地域理解教育の促進による地域の一員としての自覚の醸成</li> <li>・地域連携コーディネーターの活用により、地域や地域人材との連携した取組を促進し、取組の成果を全国に発信</li> </ul> </li> <li>○生徒による主体的な防災委員会活動の充実、保小中高の連携による避難訓練の実施などに取り組み、地域貢献を視野に入れた防災教育を展開していく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒潮町と連携するとともに、京都大学大学院生とのコラボ・地元小中学校との連携に基づく防災教育の展開による防災リーダーの育成</li> <li>・県外校と交流する機会を増やし、防災教育から始まる地域貢献の幅を拡大するとともに、キャリア教育の一環としての取組を充実</li> </ul> </li> </ul> |

|    | 学校名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|------|---|
| 30 | 大方高校 | <p>○幡多地域における商業を学べる場として、1年次から商業コースを設けており、商業の科目選択が可能であることから、資格取得などの取組の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業に関するコンテストにチャレンジするとともに、商業に関する資格取得の合格率の向上に向けた補習の実施</li> <li>・高崎商科大学との提携に基づく「日商簿記2級取得者」の育成と、指導者養成講座に教員を派遣し指導者を育成</li> </ul> <p>○高校教育の質を確保するための1学年2学級以上を下回って、1学級規模の入学者数となっていることから、魅力ある学校づくりに取り組み、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域密着型」の女子サッカー部の創設により黒潮町と協働し、強みを生かした部活動の展開により将来のワールドカップ・オリンピック選手を育成</li> <li>・「学校内英会話塾」により英語力を身に付けさせ、世界津波サミットや弁論大会等へのチャレンジと将来の進路への結び付けの推進</li> <li>・支援が必要な生徒の進路保障のために、「通級指導」に基づく自立支援活動を実施し、生徒の社会性を向上</li> </ul> <p>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</p> <p><b>【定時制】</b></p> <p>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の特長を生かし、個別指導を全教科で実施して生徒一人ひとりの弱点を全教員で共有し、授業を展開</li> <li>・進路保障に向け、ハローワーク四万十と連携した職業意識啓発講話を実施</li> </ul> <p>○若者サポートステーションと連携し、社会人に向けての講話やスキル獲得のための活動等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の社会性の育成に向け、はた若者ステーションとの連携授業を年間4回実施</li> <li>・はた若者サポートステーションのスタッフによる生徒面談を、毎月1回生徒会行事に合わせて開催</li> </ul> <p><b>【通信制】</b></p> <p>○様々な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、生徒の学習ペースに応じた学習を支援するとともに、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学希望の生徒に向けての学校説明や新入生対象のオリエンテーションを行い、通信制での学習方法などを周知</li> <li>・生徒の様々な進路に対応できるよう教育課程を編成</li> <li>・学習支援員を配置し、国語・数学・英語のスクーリングにおいて、チームティーチング（TT）を実施</li> </ul> <p>○就職希望者の支援のために若者サポートステーションを活用するとともに、職場体験等を実施する。また、進学希望者に対しては、平日の進学補習を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者サポートステーションの担当者との連携を深め、学校行事などへも参加してもらう中で面接を行い信頼関係の構築を図る</li> <li>・ジョブカフェの仕事体験（5日間）の活用や、企業に出向いてのインターンシップ（1～2日）を実施</li> <li>・小論文、面接指導の個別実施や、模擬試験等の実施</li> </ul> |

|    | 学 校 名  | 「後期実施計画」における学校の在り方   |
|----|--------|--|
| 31 | 幡多農業高校 | <p>○幡多地域の農業教育の拠点校としての役割を担い、地域と連携した取組を積極的に行うとともに、専門的かつ高度な知識や技能を身に付けることのできる環境を整備し、社会の変化や産業の動向に適応した次世代を担う農業関係者を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業教育支援センター（仮称）の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆隣接する農業振興センターとの連携による地域農業の推進支援</li> <li>◆小中学校の体験学習の受け入れ及び高校生による出前授業の実施</li> </ul> </li> <li>・農業後継者や農業関連産業従事者育成に向けた、専門的な農業新技術の学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆次世代型ハウスを導入した最先端の教材を活用した農業の魅力を伝える指導</li> </ul> </li> <li>・アグリマイスター制度（農業高校における学びの評価）の導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種資格試験の実施等、生徒が意欲的に学び、評価する環境づくり</li> </ul> </li> </ul> <p>○地域と連携した積極的な取組を通して、地域産業を支える将来のスペシャリストを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップとボランティア活動を組み合わせた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆農業に拘らない地元企業と連携した、また地域支援を含めた継続的な幅広い体験型学習の実施</li> </ul> </li> <li>・はたのう市場など地域との交流行事の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域について学び、理解し、故郷愛を持った人間の育成</li> </ul> </li> <li>・防災意識の向上と地域との定期的な避難所運営訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時の対応力など、地域の一員としての意識や適応力の育成</li> </ul> </li> </ul> <p>○基礎学力の定着と専門力の育成を図り、就職と国公立大学等への進学希望にも応えられる指導体制と教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の教育力を生かした、プロジェクト学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「主体的・継続的な深い学び」を通して、生き抜く力の育成や人間力を養うことができる体験的な学習の推進</li> </ul> </li> <li>・支援的学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学び直しから、上級学校への進学まで対応できる教育課程（習熟度別・コース別）の設置や状況に合わせた補習の実施</li> </ul> </li> <li>・放課後の時間の充実と特色ある農業高校独自の部活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒会クラブ、農業クラブ、家庭クラブ等の活性化</li> <li>◆従来の部活動に加え、探求型研究活動クラブの活性化</li> <li>◆地域や外部との連携による活動の推進</li> </ul> </li> </ul> <p>○新しい生産技術やグローバル化による競争力、六次産業化等に対応できる高い専門技術や教養を身に付けることができるよう、農業生産工程管理（GAP）教育や、食品製造に関する HACCP 教育の内容の充実に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GAP 認証取得と地域への発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆GAP 認証取得を継続的に実施し、先進的な取組のできる農業従事者の育成と GAP 認証に向けた地域への情報発信や指導</li> </ul> </li> <li>・学校生産物の販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒主導による販売実習と経営管理実習の実施</li> </ul> </li> <li>・HACCP 教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆加工品などの製作による安全な食品や製造についての学習</li> </ul> </li> </ul> <p>○「高知県産業振興計画」等、県の施策と連動した取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連機関（農業大学校・林業大学校・農業振興センター・畜産試験場）との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新しい農業技術の共有や、後継者・農業関連産業従事者育成に向けた情報共有と協働体制による指導</li> </ul> </li> </ul> |



|    | 学校名           | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|---------------|---|
| 32 | 中村高校<br>中村中学校 | <p>○幡多地域の進学拠点校として、併設型中高一貫教育のメリットを生かした学習指導と幅広い活動により高い学力と人間性を身に付け、生徒の可能性を広げ、国公立大学や難関私立大学への進学など、生徒の希望する進路を実現できるための支援を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上の取組に加えて、下記の取組を充実し、人間としての偏差値を高め、「語れる」人材を育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループワークや討論、発表等を取り入れた授業</li> <li>◆インターンシップやボランティア活動</li> <li>◆「総合的な学習の時間」や学校内外での様々な取組</li> </ul> </li> </ul> <p>○地域との連携や部活動の活性化により人間力を高める取組を実施し、地域の未来を担う人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップやボランティア活動、「総合的な学習の時間」や学校内外での様々な取組を通して、地域や学校の中での自分の「役割」を実感できる生徒を育て、将来地域のために「動ける」人材を育成</li> </ul> <p>○進学拠点校としての取組を充実するとともに、県全体の進学指導力を向上させる牽引役を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい大学入試のシステムに関する研究や実践を推進</li> <li>・併設中学校でも、大学に直接触れる機会を設け、将来の進路を意識できる取組を強化</li> </ul>   |
| 33 | 中村高校<br>西土佐分校 | <p>○地域との連携、交流活動、地域の特性を生かした取組を通じて、教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」に取り組んでいる『発掘・発展にしとさ』の充実</li> <li>・分校農園「大地の恵み」による地域との連携</li> <li>・将来、地域に戻り、地域の活性化に貢献できる生徒を育てる取組</li> </ul> <p>○少人数の利点を生かして、国公立大学等への進学から就職まで、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンデマンド教材による基礎学力の定着</li> <li>・県内大学や近隣校とのICTを活用した学習</li> </ul> <p>○カヌー部の活動やラポールの活動を活発にし、生徒一人一人に役割ややりがいを持たせる取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高連携したカヌーの取組</li> <li>・ボランティアグループ「ラポール」の地域と連携した取組</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>〔中山間地域にある学校に共通する項目〕</b></p> <p>○ICTの活用により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンデマンド教材による基礎学力の定着〔再掲〕</li> <li>・県内大学や近隣校とのICTを活用した学習〔再掲〕</li> </ul> <p>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との合同行事による中学生と保護者へのPR</li> </ul> <p>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寮などの有効活用</li> </ul> </div> <p>○分校として、高校教育の質を維持していくための最低規模である1学年1学級20人以上を連続して入学者数が下回っていることから、上記の取組を通して、生徒数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌーを通して成長しようという意欲ある生徒を全国から募集</li> <li>・地元はもちろん、幡多地区や県内から学ぶ意欲のある生徒を募集</li> </ul> |

|    | 学 校 名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|--------|---|
| 34 | 宿毛工業高校 | <p>○幡多地域の工業教育の拠点校として、ものづくりや資格取得への取組等、これまでの教育活動を発展させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能検定（旋盤、フライス）、電気工事士一種、電験三種、測量士補など高度な資格への挑戦と合格率のアップを目指す</li> <li>・県内技術競技大会での各部門最優秀獲得、ものづくりコンテスト等四国大会及び若年者ものづくり競技大会など全国大会での上位入賞、全国ロボット大会への出場を目指す</li> <li>・西南中核工業団地、宿毛商工会議所、宿毛市企画課、高知工科大学など、産学官の連携によるものづくりの共同研究</li> </ul> <p>○「高知県産業振興計画」等、県の施策と連動した取組の推進や、インターンシップ、企業見学、デュアルシステム等により地元・県内企業との連携を促進し、県内企業と産業を理解した工業技術者を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西南中核工業団地、建設業協会、自動車販売店や修理工場など地元企業等との連携を強化し、企業見学会やインターンシップの回数及び参加人数を増やす取組を継続・拡大</li> </ul> <p>○小中学校や地域と連携した取組を通して、学びと社会をつなげる教育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校での開催、周辺校への出前授業、地域イベントへの参加など開催回数及び参加人数を増やすなど、各種ものづくり教室の継続・拡大</li> </ul> <p>○進路希望に応じ弾力的な教育課程を編成し、就職と国公立大学等への進学希望にも応えられる指導体制と教育活動の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次からの就職、進学、公務員別科目選択制度の継続</li> <li>・進学就職説明会の早い段階からの実施、学校・企業訪問やインターンシップの取組の強化</li> <li>・今後の入学志願者の動向も踏まえながら、各学科（専攻）の入学者が入学定員の過半数を満たさない等の状況があった場合については学科改編を検討</li> </ul> <p>○運動部活動も更に充実させ、ものづくりとともに、地域社会の要望に応える幅広い人材育成ができる活力ある学校づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の充実を図るとともに、地域との連携を強化し外部人材を積極的に活用</li> <li>・PR活動を充実させ、学校の取組や生徒の活躍を広く周知</li> <li>・中学校との合同練習、中学生や保護者向けのスポーツ教室、本校主催の大会の開催や地域のスポーツ大会でのボランティア活動の実施</li> </ul> |

|    | 学校名  | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|------|---|
| 35 | 宿毛高校 | <p><b>【全日制】</b></p> <p>○生徒一人一人の夢の実現を目指し、個性を尊重しつつ社会人としての真の学力・生きる力を持った健全な人材の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と係わりがあるコマツ製作所や早稲田大学・高等学校との交流</li> <li>・キャリアパスポートを活用し、生徒が高校生活における「主体性を持って多様な人々と協同して学ぶ態度」の学びの履歴をまとめる</li> </ul> <p>○総合学科の内容、特にメリットを保護者や中学校に理解してもらうように広報を練り直し実施していく。また、普通科教科だけでなく、多様な専門分野を学べるという総合学科の本来の趣旨を地域に伝えるとともに、その実現に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の保護者に対し、学校説明会などを利用し、学校開放期間を設定して授業参観の受け入れを周知</li> <li>・学校ホームページを更新し、生徒の活躍を積極的に広報</li> </ul> <p>○総合学科については、系列の見直しを行い、個々の進路目的に対応する教育課程を再編成し、多様な進路の実現を図るとともに自ら考え、行動する生徒を育て、個性の伸長に努め、地域社会及び国際社会に貢献できる人材の育成を目指す。なお、見直しの際には、幡多地域の実態を踏まえて、商業に関する科目選択を可能とするよう位置付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の実施に向けて教育課程検討委員会を開催し、商業、福祉、家庭、スポーツ、芸術などの専門分野や普通教科も習熟度別に多様な講座が受講できるよう、進路目的別に体系的時間割を作成</li> </ul> <p>○スポーツの盛んな地域の期待に添うように運動部の活動を活性化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休部状態であるレスリングを復活</li> <li>・地域で盛んな相撲、男子バレーボール、サッカーなどの競技については、小中学校との縦の関係を深め活性化</li> <li>・将来的には、レスリング、相撲などは、大学の合宿などを招待</li> </ul> <p>○津波被害については、宿毛市の中心部が広範囲にわたって浸水することが想定されていることから、地域と連携した避難訓練等の実施やBCP（事業継続計画）の策定等のソフト面と同時に、避難場所を確実に確保するとともに、避難場所へ向かう避難路の安全確保を徹底して行うなど、ハード面の整備を実施する。なお、南海トラフ地震による津波への対応のため、適地への移転の可能性も含め、将来の学校の在り方を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を年3回実施し、そこで確認できた危険な場所等については地域へ報告</li> <li>・複数の防災の専門家による現地検証を行い、必要な対策の実施と避難マニュアルを作成</li> <li>・避難路周辺の家屋やブロック塀の倒壊による避難路の遮断を防ぐため、家屋等の所有者への耐震対策や補助制度の周知など、県や市町村による防災対策の実施</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <p>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学び直しの機会を増やすためにも、前期・後期の2回の入学機会の提供の制度づくりの可能性を検討</li> </ul> <p>○多様な生徒の居場所づくりとしての役割を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生の歓迎会や県の体育大会の全員応援などの仲間づくりの機会を多く設定</li> </ul> |

|    | 学 校 名   | 「後期実施計画」における学校の在り方  |
|----|---------|---|
| 36 | 清 水 高 校 | <p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○清水中学校との連携型中高一貫教育による連携授業の推進や、ジョン万次郎などの地域に関連した教育資源や教材を活用した教育活動を推進することで、学力の向上や社会性の育成に努め、地域に貢献できる人材の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域をテーマとした課題解決学習の実施</li> <li>・短期海外留学の実施や、英語検定の取得拡大などにより、語学の教育活動を強化</li> <li>・アメリカ・フェアハイブン姉妹校との留学制度を活用した語学力・チャレンジ精神の強化</li> <li>・市の補助金制度を活用し、英語検定の取得拡大</li> </ul> </li> <li>○基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底した個別指導の実施</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【中山間地域にある学校に共通する項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTの活用等により4年制大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学対策講座及び学び直し講座の実施</li> <li>・大学進学に特化する教育課程の編成</li> </ul> </li> <li>○市町村との連携により地元中学校からの進学率を更に向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水市を担う人材育成のための小中高一貫地域学習プログラムの開発</li> <li>・中高交流の拡大と中高合同部活動の取組</li> </ul> </li> <li>○特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動数の精選と地域の特色を生かした部活動の新設</li> <li>・アメリカ・フェアハイブン姉妹校との留学制度を活用した語学力やチャレンジ精神の強化〔再掲〕</li> </ul> </li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高校教育の質を確保するための1学年2学級以上を下回って、1学級規模の入学者数となっていることから、魅力ある学校づくりに取り組み、学校の周知を更に行い、生徒数の確保に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「清水高校魅力化の会」での提言を具体的に検討し推進</li> </ul> </li> <li>○特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模とする。</li> <li>○南海トラフ地震による津波被害から確実に生徒を守るために速やかに高台へ移転する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得や必要な施設整備を検討し、平成35年度をめどに移転</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒に応じた支援を行い、生活規律の確立や社会性の育成を図り、生徒の希望する進路の実現を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携して、生徒理解を深め、個別指導を実施</li> </ul> </li> <li>○多様な生徒の居場所づくりとしての役割を果たす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢交流活動や体験学習の実施</li> </ul> </li> </ul> |

## 1 中村高等学校西土佐分校について

中村高等学校西土佐分校については、基本的に継続する。

### 考え方

分校の「2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合、その翌年からの募集停止を検討する」の最低規模の基準については、「県立高等学校再編振興計画」策定までの協議内容を踏まえると、基準としては尊重するが、分校は小規模ということが前提になっていることから、本校との連携、分校としての振興策、地域からの支援などを含め、「後期実施計画」の実施期間（平成31年度～平成35年度）中は、その取組の成果を検証しながら、中村高等学校西土佐分校については、基本的に存続する。

## 2 清水高等学校の高台移転について

### （スケジュール）

清水高等学校（全日制・定時制）を高台へ移転することとし、新たな校舎を設置する。

〔実施年度〕○用地取得や必要な施設整備を検討し、平成35年度をめどに移転を進める。

### ア 高台移転に向けた考え方

南海トラフ地震による津波被害から確実に生徒を守るために、速やかに高台へ移転することとする。

清水高等学校の活性化策に向けた取組の推進や、清水中学校との連携型中高一貫教育を更に充実することを目的に、充実した教育環境を整備する。

### イ 目指す姿

清水中学校の近隣に清水高等学校を設置することで、教員の移動時間の短縮につながるとともに、生徒間の交流も盛んになるなど、清水中学校との連携型中高一貫教育による連携授業等の一層の推進を図る。

さらに、中学校と高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める。

### ウ 施設整備

移転後の清水高等学校は、全日制の課程と定時制の課程を併置する。

なお、施設については、清水中学校と清水高等学校で学級や職員室を中心とした教室は別棟とし、体育館やグラウンド等はできるだけ共用する。





# 1 審議過程

## (1) 教育委員会協議会

### ア 平成29年度

| 回    | 開催日           | 会場             | 開催時間        | 参加者 | 会議  | 内容  |
|------|---------------|----------------|-------------|-----|-----|---|
| 第1回  | 10月24日<br>(火) | 高知共済会館         | 18:00~19:20 | 2   | 全体会 | 「県立学校再編振興計画」の内容について確認<br>「後期実施計画」策定スケジュールについて確認<br>「後期実施計画」の策定に係る現状について説明                                     |
| 第2回  | 11月21日<br>(火) | 安芸市民会館         | 18:00~20:07 | 23  | 地域会 | 対象: 東部地域(4校)<br>・県立学校の現状、今後の状況について説明<br>・意見聴取: 室戸市、田野町、安芸市  |
| 第3回  | 11月30日<br>(木) | 南国市保健福祉センター    | 18:00~20:00 | 29  | 地域会 | 対象: 中部地域①(5校)<br>・県立学校の現状、今後の状況について説明<br>・意見聴取: 香南市、香美市、南国市   |
| 第4回  | 12月4日<br>(月)  | 高知共済会館         | 18:00~20:15 | 37  | 地域会 | 対象: 中部地域②(17校)、北部地域(2校)<br>・県立学校の現状、今後の状況について説明<br>・意見聴取: 本山町、土佐町、いの町、土佐市                                     |
| 第5回  | 1月15日<br>(月)  | 四万十町農村環境改善センター | 18:00~20:17 | 53  | 地域会 | 対象: 高吾地域(6校)<br>・県立学校の現状、今後の状況について説明<br>・意見聴取: 佐川町、四万十町   |
| 第6回  | 1月24日<br>(水)  | 四万十市立中央公民館     | 18:00~19:45 | 26  | 地域会 | 対象: 幡多地域(7校)<br>・県立学校の現状、今後の状況について説明<br>・意見聴取: 黒潮町、四万十市、宿毛市、土佐清水市   |
| 第7回  | 2月13日<br>(火)  | 高知共済会館         | 18:00~20:30 | 2   | 全体会 | 地域会での意見の確認<br>「後期実施計画」策定に関する全体の方向性について協議<br>・本校の最低規模について<br>・分校の最低規模について<br>・定時制(夜間部)の最低規模について<br>・各校の振興策について |
| 第8回  | 2月23日<br>(金)  | 県庁正庁ホール        | 18:00~19:45 | 3   | 全体会 | 「後期実施計画」策定に関する全体の方向性について協議<br>・南海トラフ地震への対応<br>・併設型中高一貫教育校について<br>・学科について                                      |
| 第9回  | 3月16日<br>(金)  | 高知共済会館         | 18:00~19:56 | 17  | 全体会 | 県立高等学校の地域別配置状況について説明<br>地域別の県立中学校・高等学校の在り方の方向性について協議<br>・東部地域、北部地域、中部地域①                                      |
| 第10回 | 3月28日<br>(水)  | 高知共済会館         | 18:00~19:49 | 8   | 全体会 | 地域別の県立中学校・高等学校の在り方の方向性について協議<br>・中部地域②、高吾地域、幡多地域  |

### イ 平成30年度

| 回   | 開催日          | 会場     | 開催時間        | 参加者 | 会議  | 内容   |
|-----|--------------|--------|-------------|-----|-----|--|
| 第1回 | 4月23日<br>(月) | 高知共済会館 | 18:00~19:18 | 3   | 全体会 | 「後期実施計画」策定スケジュールについて確認<br>高吾地域の継続検討事項について協議<br>・四万十町の窪川高校と四万十高校の学校の在り方<br>幡多地域の継続検討事項について協議<br>・土佐清水市の清水高校の高台移転  |
| 第2回 | 5月14日<br>(月) | 高知共済会館 | 18:00~19:44 | 12  | 全体会 | キャンパス校について確認<br>高吾地域の継続検討事項について協議<br>・四万十町の窪川高校と四万十高校の学校の在り方<br>東部地域の継続検討事項について協議<br>・安芸市の安芸中学・高校と安芸桜ヶ丘高校の学校の在り方 |
| 第3回 | 5月18日<br>(金) | 高知共済会館 | 18:30~20:15 | 11  | 全体会 | 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の「中間とりまとめ(案)」について協議  |



| 回   | 開催日          | 会場                       | 開催時間                | 参加者 | 会議  | 内容   |
|-----|--------------|--------------------------|---------------------|-----|-----|--|
| 第4回 | 7月11日<br>(水) | 安芸市民会館                   | 18:30~20:40         | 38  | 地域会 | 東部地域の活力ある拠点校の在り方についての意見聴取及び協議  |
| 第5回 | 7月13日<br>(金) | 四万十町地域<br>交流センター<br>くぼかわ | 18:30~19:44         | 35  | 地域会 | 四万十町内の2校の高等学校の在り方についての意見聴取及び協議   |
| 第6回 | 7月17日<br>(火) | きらら大正                    | 18:30~20:15         | 55  | 地域会 | 四万十町内の2校の高等学校の在り方についての意見聴取及び協議   |
| 第7回 | 8月29日<br>(水) | 高知共済会館                   | 18:00~20:52         | 9   | 全体会 | 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」における中山間地域の高等学校の在り方について協議<br>窪川高等学校と四万十高等学校の在り方について協議 |
| 第8回 | 9月5日<br>(水)  | 高知共済会館                   | 18:00~20:30<br>(予定) | 未定  | 全体会 | 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の「最終とりまとめ(パブリックコメント案)」について協議                         |

## (2) 教育委員会

| 年     | 開催日              | 内容   |
|-------|------------------|--|
| 平成30年 | 5月23日(水)         | 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の「中間とりまとめ」について             |
| 平成30年 | 9月11日(火)<br>(予定) | 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の「最終とりまとめ(パブリックコメント案)」について |

## (3) パブリックコメント

実施期間：平成30年10月〇日(〇)～平成30年11月〇日(〇) ← 決定後に記載

## 2 県立高等学校及び県立中学校の改編等の実施状況

### 【県立高等学校】

| 実施年度 | 学校名          | 改編前 |                              |   |             | 改編後      |                 |   |        | 備考                   |
|------|--------------|-----|------------------------------|---|-------------|----------|-----------------|---|--------|----------------------|
|      |              | 課程  | 学科                           | 科・コース                                       | 学級数         | 課程       | 学科              | 科・コース   | 学級数    |                      |
| 17   | 安芸           | 全   | 文理                           | 文理科   | 2           |          |                 |   |        | (募集停止)               |
|      | 高知農業         | 全   | 農業                           | 生産経済科                                       | 1           | 全        | 農業              | 農業総合科   | 1      | 学科改編                 |
|      |              |     |                              | 園芸科   | 1           |          |                 | 畜産総合科   | 1      |                      |
|      |              |     |                              | 畜産科   | 1           |          |                 | 森林総合科   | 1      |                      |
|      |              |     |                              | 林業科   | 1           |          |                 | 環境土木科   | 1      |                      |
|      |              |     |                              | 農業土木科                                       | 1           |          |                 | 食品ビジネス科   | 1      |                      |
|      |              |     |                              | 食品化学科                                       | 1           |          |                 | 生活総合科   | 1      |                      |
|      |              |     |                              | 生活科学科                                       | 1           |          |                 |   |        |                      |
|      | 高知追手前        | 全   | 普通                           | 普通科<br>(人文・語学コース)<br>(総合科学コース)<br>(自然科学コース) | 4<br>1<br>2 | 全        | 普通              | 普通科<br>(人文コース)<br>(科学コース)                           | 4<br>3 | コース改編                |
|      | 高知丸の内        | 全   | 普通                           | 普通科   | 3           | 全        | 普通              | 普通科(単位制)  | 4      | 単位制、男女共学に            |
|      |              |     | 家庭                           | 家政科   | 1           |          |                 |   |        | (募集停止)               |
|      |              |     | 音楽                           | 音楽科   | 1           | 全        | 音楽              | 音楽科(学年制)  | 1      | 男女共学に                |
|      | 大方<br>(大方商業) | 全   | 商業                           | 商業科   | 1           | 定<br>(夜) | 普通              | 普通科(昼)  | 2      | 校名変更<br>学科改編<br>課程転換 |
|      |              |     |                              | 情報科   | 1           |          |                 | 普通科(夜)  | 1      |                      |
|      |              |     |                              |   |             |          |                 | 通普通   | 普通科    |                      |
|      | 中村           | 全   | 外国語                          | 英語科   | 1           |          |                 |   |        |                      |
|      |              | 定   | 普通                           | 普通科   | 1           |          |                 |   |        | (募集停止)               |
| 通    |              | 普通  | 普通科                          | 100人  |             |          |                 |   |        |                      |
| 宿毛工業 | 全            | 工業  | 機械・生産系<br>(機械工学科、<br>自動車工学科) | 2   | 全           | 工業       | 機械科(機械専攻、自動車専攻) | 1   | 学科改編   |                      |
|      |              |     | 建設・環境系<br>(土木工学科、<br>建築工学科)  | 2   |             |          | 建設科(土木専攻、建築専攻)  | 1   |        |                      |
|      |              |     | 電気・情報系<br>(電気工学科、<br>情報工学科)  | 2   |             |          | 電気科             | 1   |        |                      |
|      |              |     |                              |   |             |          | 情報技術科           | 1   |        |                      |
| 中芸   | 全            | 普通  | 普通科                          | 2   | 定<br>(夜)    | 普通       | 普通科(昼)          | 2   | 課程転換   |                      |
|      | 定            | 普通  | 普通科                          | 1   |             |          | 普通科(夜)          | 1   |        |                      |
| 安芸   | 定            | 普通  | 普通科                          | 1   |             |          |                 |   | (募集停止) |                      |
| 18   | 春野<br>(高知園芸) | 全   | 農業                           | 施設園芸科                                       | 1           | 全        | 総合              | 総合学科<br>(人文教養、生活福祉、<br>芸術スポーツ、園芸科学、<br>食農科学、造園装飾系列) | 4      | 校名変更<br>学科改編         |
|      |              |     |                              | 園芸経済科                                       | 1           |          |                 |   |        |                      |
|      |              |     |                              | 環境デザイン科                                     | 1           |          |                 |   |        |                      |
|      |              |     |                              | 生活科学科                                       | 1           |          |                 |   |        |                      |
| 高知海洋 | 全            | 水産  | マリン技術科                       | 1   | 全           | 水産       | 海洋学科            | 2   | 学科改編   |                      |
|      |              |     | マリン工学科                       | 1   |             |          |                 |   |        |                      |
|      |              |     | マリン科学科                       | 1   |             |          |                 |   |        |                      |
| 須崎工業 |              |     |                              |   | 全           | 工業       | ユニバーサルデザイン科     | 1   | 新設     |                      |
| 久礼分校 | 全            | 家庭  | 家政科                          | 1   | 4           |          |                 |   | (募集停止) |                      |

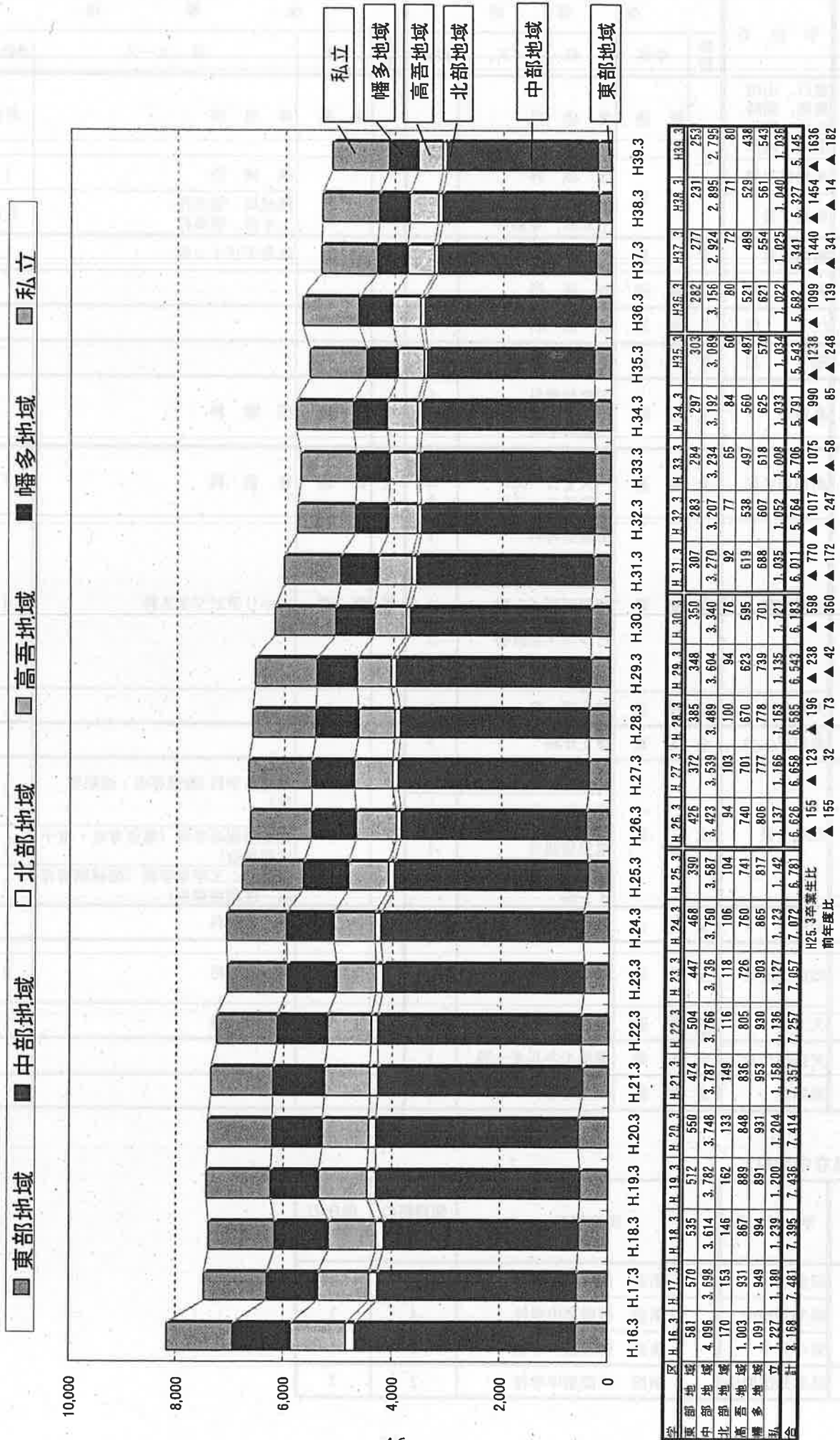
| 実施年度       | 学校名                              | 改 編 前    |                     |                           |        | 改 編 後    |                     |                         |        | 備 考                 |
|------------|----------------------------------|----------|---------------------|---------------------------|--------|----------|---------------------|-------------------------|--------|---------------------|
|            |                                  | 課程       | 学科                  | 科・コース                     | 学級数    | 課程       | 学科                  | 科・コース                   | 学級数    |                     |
| 19         | 室戸、山田<br>高岡、須崎<br>佐川、窪川<br>宿毛、清水 | 定        | 普通                  | 普通科                       |        | 定<br>(※) | 普通                  | 普通科                     | 各1     | 学年制を単位制に改編          |
|            | 工業                               |          | 機械科                 | 工業                        |        |          | 機械科                 | 1                       |        |                     |
|            |                                  |          | 機械科、電気科、<br>土木科、建築科 |                           |        |          | 機械科、電気科、<br>土木科、建築科 | 各1                      |        |                     |
| 20         | 高知工業                             | 全        | 工業                  | インテリア科                    | 1      | 全        | 工業                  | 総合デザイン科                 | 1      | 学科改編                |
|            | 大 柘                              | 全        | 普通                  | 普通科                       | 1      |          |                     |                         |        | (募集停止)              |
| 21         | 仁 淀                              | 全        | 普通                  | 普通科                       | 1      |          |                     |                         |        | (募集停止)              |
| 22         | 窪 川                              | 定        | 普通                  | 普通科                       | 1      |          |                     |                         |        | (募集停止)              |
| 23         | 高知南                              | 全        | 国際                  | 国際教養科                     | 1      | 全        | 国際                  | 国際科                     | 1      | 学科改編                |
|            |                                  |          |                     | 国際科学科                     | 1      |          |                     |                         |        |                     |
| 24         | 高知追手前                            | 全        | 普通                  | 普通科<br>(人文コース)<br>(科学コース) | 4<br>3 | 全        | 普通                  | 普通科                     | 7      | コース制廃止              |
|            | 伊野商業                             | 全        | 商業                  | 情報処理科                     | 1      | 全<br>(※) | 商業                  | キャリアビジネス科               | 4      | 学年制を単位制に改編、<br>学科改編 |
|            |                                  |          |                     | 国際観光科                     | 1      |          |                     |                         |        |                     |
|            |                                  |          |                     | 情報デザイン科                   | 1      |          |                     |                         |        |                     |
|            |                                  |          |                     | ビジネス会計科                   | 1      |          |                     |                         |        |                     |
| メディアクリエート科 | 1                                |          |                     |                           |        |          |                     |                         |        |                     |
| 大月分校       | 全                                | 普通       | 普通科                 | 1                         |        |          |                     |                         | (募集停止) |                     |
| 26         | 高知東工業                            | 全        | 工業                  | 理工学科                      | 1      |          |                     |                         |        | (募集停止)              |
| 28         | 須崎工業                             | 全        | 工業                  | 機械科                       | 1      | 全        | 工業                  | 機械系学科(機械専攻・造船専攻)        | 1      | 学科改編                |
|            |                                  |          |                     | 造船科                       | 1      |          |                     | 電気情報系学科(電気専攻・電子情報専攻)    | 1      |                     |
|            |                                  |          |                     | 電気情報科                     | 1      |          |                     | システム工学系学科(機械制御専攻・住環境専攻) | 1      |                     |
|            | 須崎                               | 全        | 総合                  | 総合学科                      | 1      | 全        | 普通                  | 普通科                     | 1      | 学科改編                |
| 29         | 城山、高岡                            | 全        | 普通                  | 普通科                       | 2      | 全<br>(※) | 普通                  | 普通科                     | 2      | 学年制を単位制に改編          |
|            | 大方                               | 定<br>(※) | 普通                  | 普通科(昼)                    | 2      | 全<br>(※) | 普通                  | 普通科                     | 2      | 課程転換                |
| 30         | 安芸桜ヶ丘                            | 全        | 工業                  | 環境エネルギー科                  | 1      |          |                     |                         |        | (募集停止)              |
|            | 高知北                              | 定        | 看護                  | 衛生看護科                     | 1      |          |                     |                         |        | (募集停止)              |

【県立中学校】

| 実施年度 | 学校名    | 実施状況      | 開設時の学級規模 | 現在の学級規模 |
|------|--------|-----------|----------|---------|
| 14   | 県安芸中   | 新設 併設型中学校 | 2        | 2       |
|      | 県高知南中  | 新設 併設型中学校 | 4        | 2       |
|      | 県中村中   | 新設 併設型中学校 | 2        | 2       |
| 30   | 県高知国際中 | 新設 併設型中学校 | 2        | 2       |

### 3 地域別中学校卒業生数の推移

H16.3~H39.3 ただし、H31.3以降は推計



#### 4 平成31年度県立高等学校募集学級数別学校一覧

##### (1) 全日制

|         | 学科     | 1学級   | 2学級                   | 3学級  | 4学級   | 5学級   | 6学級   | 7学級   | 8学級  | 計           |
|---------|--------|-------|-----------------------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------------|
| 東部地域    | 普通     |       |                       | 安芸   |       |       |       |       |      | 3校<br>7学級   |
|         | 工業・商業  |       | 安芸桜ヶ丘                 |      |       |       |       |       |      |             |
|         | 総合     |       | 室戸                    |      |       |       |       |       |      |             |
| 中部地域    | 普通     |       | 城山<br>高岡              |      |       |       |       | 高知追手前 | 岡豊   | 16校<br>82学級 |
|         | 普通・理数  |       |                       |      |       |       |       | 高知小津  |      |             |
|         | 普通・外国語 |       |                       |      |       |       |       | 高知西   |      |             |
|         | 普通・国際  |       |                       |      |       |       | 高知南   |       |      |             |
|         | 普通・音楽  |       |                       |      |       | 高知丸の内 |       |       |      |             |
|         | 普通・商業  |       |                       |      |       | 山田    |       |       |      |             |
|         | 農業     |       |                       |      |       |       | 高知農業  |       |      |             |
|         | 工業     |       |                       |      |       | 高知東工業 |       | 高知工業  |      |             |
|         | 商業     |       |                       |      |       | 伊野商業  |       |       |      |             |
|         | 水産     |       | 高知海洋                  |      |       |       |       |       |      |             |
|         | 総合     |       |                       |      |       | 春野    |       |       |      |             |
| 総合・看護   |        |       |                       |      |       |       | 高知東   |       |      |             |
| 北部地域    | 普通     | 吾北分校  | 嶺北                    |      |       |       |       |       |      | 2校 3学級      |
| 高吾地域    | 普通     |       | 佐川<br>窪川<br>檜原<br>四万十 |      |       |       |       |       |      | 5校<br>14学級  |
|         |        | 普通・工業 |                       |      |       |       |       | 須崎総合  |      |             |
|         |        |       |                       |      |       |       |       |       |      |             |
| 幡多地域    | 普通     | 西土佐分校 | 清水<br>大方              |      |       | 中村    |       |       |      | 7校<br>21学級  |
|         | 農業     |       |                       |      | 幡多農業  |       |       |       |      |             |
|         | 工業     |       |                       |      | 宿毛工業  |       |       |       |      |             |
|         | 総合     |       |                       | 宿毛   |       |       |       |       |      |             |
| 計       |        | 2校    | 12校                   | 2校   | 5校    | 3校    | 4校    | 4校    | 1校   | 33校         |
| 規模別学校割合 |        | 6.1%  | 36.4%                 | 6.1% | 15.1% | 9.1%  | 12.1% | 12.1% | 3.0% |             |

##### (2) 定時制及び多部制単位制

|      | 学科    | 1学級    | 2学級    | 3学級  | 4学級 | 計          |
|------|-------|--------|--------|------|-----|------------|
| 東部地域 | 普通    | 室戸     |        |      |     | 2校<br>3学級  |
|      |       | 中芸(昼)  |        |      |     |            |
|      |       | 中芸(夜)  |        |      |     |            |
| 中部地域 | 普通    | 山田     | 高知北(昼) |      |     | 5校<br>10学級 |
|      |       | 高知北(夜) |        |      |     |            |
|      |       | 高岡     |        |      |     |            |
| 工業   | 高知東工業 |        |        | 高知工業 |     |            |
| 高吾地域 | 普通    | 須崎総合   |        |      |     | 2校<br>2学級  |
|      |       | 佐川     |        |      |     |            |
| 幡多地域 | 普通    | 大方(夜)  |        |      |     | 3校<br>3学級  |
|      |       | 宿毛     |        |      |     |            |
|      |       | 清水     |        |      |     |            |
| 計    |       |        |        |      |     | 12校        |

##### (3) 通信制

- ◎高知北高校 (1学年募集定員200人)
- ◎大方高校 (1学年募集定員100人)

## 5 平成31年度県立高等学校の学科及びコース一覧

### (1) 全日制の設置状況

| 学 科          | 東部地域         |       |                | 中部地域  |           |                | 北部地域    |       |                | 高吾地域 |         |                | 幡多地域 |         |                |         |             |
|--------------|--------------|-------|----------------|-------|-----------|----------------|---------|-------|----------------|------|---------|----------------|------|---------|----------------|---------|-------------|
|              | 学校名          | 科・コース | 六学定員に対する1学年学級数 | 学校名   | 科・コース     | 六学定員に対する1学年学級数 | 学校名     | 科・コース | 六学定員に対する1学年学級数 | 学校名  | 科・コース   | 六学定員に対する1学年学級数 | 学校名  | 科・コース   | 六学定員に対する1学年学級数 |         |             |
| 普通科          | 安芸           | 普通科   | 3              | 城山    | 普通科       | 2              | 嶺北      | 普通科   | 2              | 佐川   | 普通科     | 2              | 大方   | 普通科     | 2              |         |             |
|              |              |       |                | 山田    | 普通科       | 4              | 吾北分     | 普通科   | 1              | 須崎総合 | 普通科     | 3              | 中村   | 普通科     | 5              |         |             |
|              |              |       |                | 岡豊    | 普通科       | 6              |         |       |                | 窪川   | 普通科     | 2              | 西土佐分 | 普通科     | 1              |         |             |
|              |              |       |                | 高知南   | 普通科       | 5              |         |       |                | 橋原   | 普通科     | 1              | 清水   | 普通科     | 2              |         |             |
|              |              |       |                | 高知通手前 | 普通科       | 7              |         |       |                | 四万十  | 普通科     | 1              |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高知丸の内 | 普通科       | 4              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高知小津  | 普通科       | 6              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高知西   | 普通科       | 6              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高岡    | 普通科       | 2              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| 普通科系<br>専門学科 |              |       |                | 高知南   | 国際科       | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高知丸の内 | 音楽科       | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高知小津  | 理数科       | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高知西   | 英語科       | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| 普通科<br>(コース) |              |       |                | 岡豊    | 体育コース     | 1              |         |       |                | 四万十  | 自然環境コース | 1              |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 岡豊    | 芸術コース     | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| 農業に関する<br>学科 | 作物・園芸系       |       |                | 高知農業  | 農業総合科     | 1              |         |       |                |      |         |                | 幡多農業 | 園芸システム科 | 1              |         |             |
|              |              | 畜産系   |                | 高知農業  | 畜産総合科     | 1              |         |       |                |      |         |                |      | 幡多農業    | アグリサイエンス科      | 1       |             |
|              |              |       | 林業系            |       | 高知農業      | 森林総合科          | 1       |       |                |      |         |                |      |         | 幡多農業           | グリーン環境科 | 1           |
|              |              |       |                | 生活系   |           | 高知農業           | 生活総合科   | 1     |                |      |         |                |      |         |                | 幡多農業    | 生活コーディネーター科 |
|              |              |       | 食品系            |       |           | 高知農業           | 食品ビジネス科 | 1     |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 土木系   |           | 高知農業           | 環境土木科   | 1     |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| 工業に関する<br>学科 | 機械系          |       |                | 高知東工業 | 機械科       | 1              |         |       |                |      |         |                | 宿毛工業 | 機械科     | 1              |         |             |
|              |              |       |                | 高知東工業 | 機械生産システム科 | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 高知工業  | 機械科       | 1              |         |       |                |      | 須崎総合    | 機械系学科          | 1    |         |                |         |             |
|              | 造船系          |       |                | 高知工業  | 情報技術科     | 1              |         |       |                |      |         |                |      | 宿毛工業    | 情報技術科          | 1       |             |
|              |              | 情報系   |                |       | 高知工業      | 工業化学科          | 1       |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              | 化学系          |       |                |       | 高知東工業     | 電子科            | 1       |       |                |      | 須崎総合    | 電気情報系学科        | 1    | 宿毛工業    | 電気科            | 1       |             |
|              |              | 電気系   |                |       | 高知工業      | 電気科            | 1       |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              | 建設系          |       | 安芸桜ヶ丘          | 環境建設科 | 1         | 高知工業           | 建築科     | 1     |                |      |         |                |      | 宿毛工業    | 建設科            | 1       |             |
|              |              |       |                |       | 高知工業      | 土木科            | 1       |       |                |      | 須崎総合    | システム工学系学科      | 1    |         |                |         |             |
|              | 制御系          |       |                |       | 高知東工業     | 電子機械科          | 1       |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| デザイン系        |              |       |                | 高知工業  | 総合デザイン科   | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              | 商業に関する<br>学科 | 安芸桜ヶ丘 | 情報ビジネス科        | 1     | 山田        | 商業科            | 1       |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
|              |              |       |                | 伊野商業  | キャリアビジネス科 | 4              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| 水産に関する<br>学科 |              |       |                | 高知海洋  | 海洋学科      | 2              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| 看護に関する<br>学科 |              |       |                | 高知東   | 看護科       | 1              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |
| 総合学科         | 室戸           | 総合学科  | 2              | 高知東   | 総合学科      | 5              |         |       |                |      |         |                | 宿毛   | 総合学科    | 3              |         |             |
|              |              |       |                | 春野    | 総合学科      | 4              |         |       |                |      |         |                |      |         |                |         |             |

### (2) 多部制単位制の設置状況

| 学 科    | 東部地域 |                      | 中部地域 |                      | 北部地域 |       | 高吾地域 |       | 幡多地域 |       |
|--------|------|----------------------|------|----------------------|------|-------|------|-------|------|-------|
|        | 学校名  | 科・コース                | 学校名  | 科・コース                | 学校名  | 科・コース | 学校名  | 科・コース | 学校名  | 科・コース |
| 多部制単位制 | 中芸   | 普通科(昼間部)<br>普通科(夜間部) | 高知北  | 普通科(昼間部)<br>普通科(夜間部) |      |       |      |       |      |       |

### (3) 定時制・通信制課程の設置状況

| 学 科     | 東部地域 |       | 中部地域  |       | 北部地域 |       | 高吾地域 |       | 幡多地域 |       |
|---------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|
|         | 学校名  | 科・コース | 学校名   | 科・コース | 学校名  | 科・コース | 学校名  | 科・コース | 学校名  | 科・コース |
| 定時制(夜間) | 室戸   | 普通科   | 山田    | 普通科   |      |       | 須崎   | 普通科   | 大方   | 普通科   |
|         |      |       | 高岡    | 普通科   |      |       | 佐川   | 普通科   | 宿毛   | 普通科   |
|         |      |       | 高知東工業 | 機械    |      |       |      |       | 清水   | 普通科   |
|         |      |       |       | 機械    |      |       |      |       |      |       |
|         |      |       | 高知工業  | 電気    |      |       |      |       |      |       |
|         |      |       |       | 土木    |      |       |      |       |      |       |
| 通信制     |      |       | 高知北   | 普通科   |      |       |      |       | 大方   | 普通科   |

## 6 「県立高等学校再編振興計画」における適正な学校規模の維持と適切な学校の配置について

高等学校の教育の質を維持・向上できるように、県全体のバランスを考慮しながら、適正な学校規模の維持と適切な配置に努める。

### 適正規模

(中山間地域を含めた) 県全体としては、「1 学年 4 ～ 8 学級」の学校規模。  
(一定の生徒数が見込まれる) 高知市及びその周辺地域は、「1 学年 6 学級以上」の学校規模の維持に努める。

### 特例校

- ・「1 学年 1 学級 (20 人以上) 以上」を最低規模として、できるだけ維持するため
- ・過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校は、地域の学びの機会を保障するために特例校とする。
- ・不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟な対応をするための支援体制を整えた学校については特例校とする。

### 普通科

卒業後の多様な進路選択の保障と地域を担う人材の育成という観点から、県全体のバランスを考慮した適切な配置に努める。

### 進学拠点校

県全体の拠点校：難関大学や医学部等への進学も実現できる学校  
地域の拠点校：卒業生の 2 割以上が国立公立大学へ進学する学校

### 連携型中高一貫教育校

現在設置されていない地域への配置も検討する。

### 併設型中高一貫教育校

東部、中央部、西部の 3 地域での配置を維持する。

### 学び直しの機能を持った学校

不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等を受け入れる体制を整える。

### 総合学科の学校

生徒が興味関心に応じて系列を選択することで多様な進路希望に対応できる特色を生かすために、現在の各地域での配置を維持することに努める。ただし、生徒数の減少等により複数の系列を置くことが困難な学校については、生徒数や地域の状況も踏まえつつ必要に応じて普通科への改編も検討する。

### 産業系専門学科の学校

本県の産業を担う人材の育成及び産業振興のため、現状の学校の配置を維持することに努める。

### 分校

分校は、募集停止する条件を緩和し、平成 27 年度から「1 学年 1 学級 20 人以上を 2 年連続して満たない状況になった場合」とし、維持に努める。

### 定時制・通信制の学校

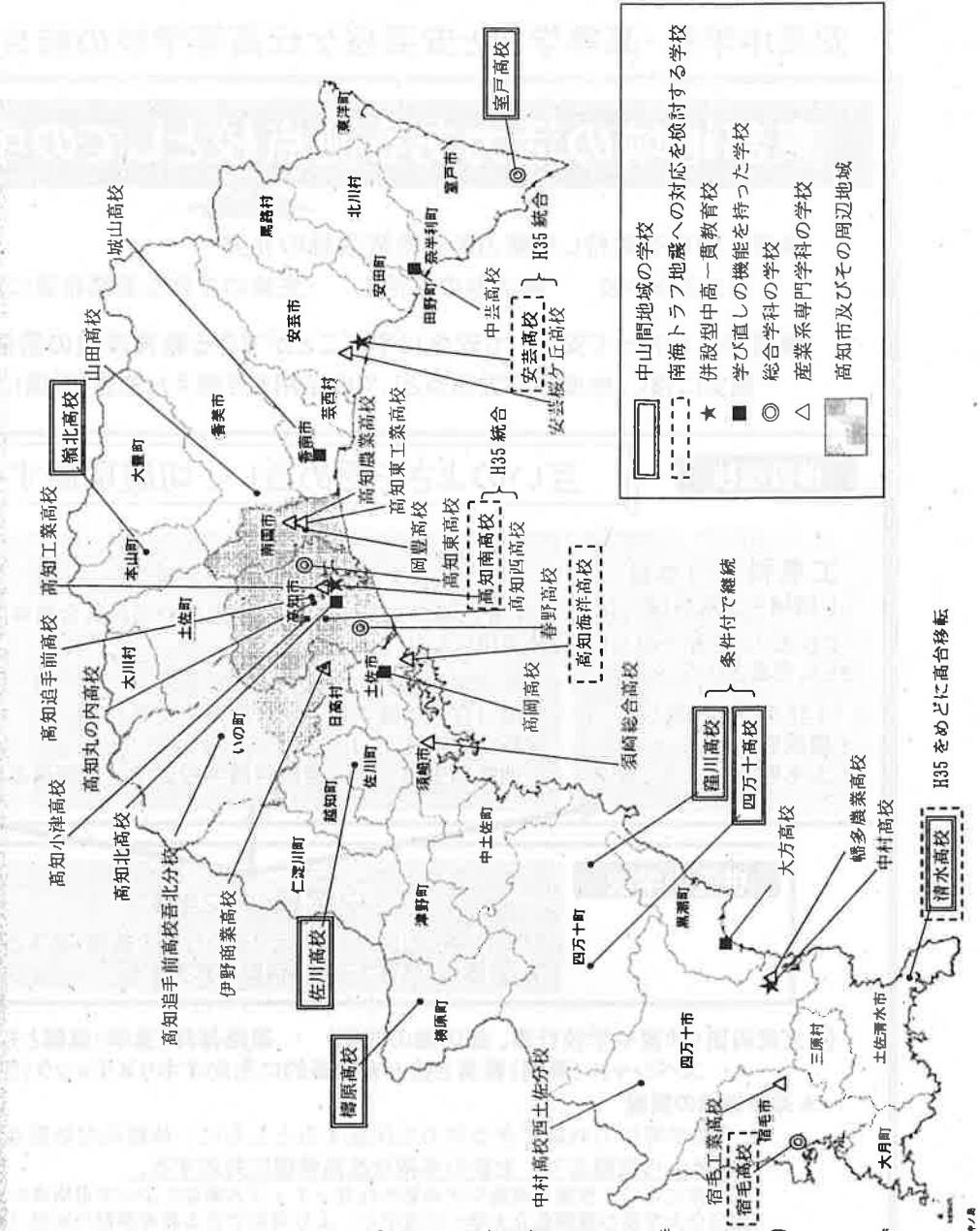
- ・定時制 (夜間) は、「学校全体の生徒数を 20 人以上」に緩和し、各地域での維持に努める。
- ・通信制は、現在の中央部と西部の 2 校の配置を維持する。

### 中山間地域の学校

- ※後開発振興計画から追加
- ・ICT の活用により国立公立大学への進学希望にも対応できる学習環境の整備や、社会性の育成を図る取組を推進する。
- ・市町村と連携して、地元中学校からの進学率を向上させる。
- ・特色ある学校づくりを行い、地域外の生徒を確保する。

### 南海トラフ地震への対応

- ・海沿いにあり津波により、大きな被害が想定される学校については、学校の特性や地域の実態を踏まえながら、「適地への移転やそのための統合の可能性を含め、対応を検討」する。



H35 をめどに高台移転

## 7 安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校の統合後の学校の姿

### 東部地域の活力ある拠点校としての中高一貫教育校

#### ■適正規模を維持した魅力ある教育活動の充実

・活力ある学校 ・部活動の活性化 ・生徒の多様な進路希望に対応 ・中高一貫教育の充実

#### ■将来にわたって安心して安全に学ぶことができる教育環境の整備

・震災に強く、地域の防災拠点としての活用も見据えた施設・設備に改築・改修

#### 併設高校

#### 互いのよさを認め合い、切磋琢磨する関係

#### 工業科 <1学級>

【機械・土木科(案)】

これまでの伝統を継承し、さらに発展させる。

〔1年次からの専攻〕

- ・機械専攻
- ・土木専攻

#### 普通科 <3学級>

学習指導の充実により、大学進学や公務員合格等の進路実現につなげる。

〔2年次からのコース〕

- ・国公立大学進学コース(理系・文系)
- ・私立大学進学コース
- ・地域創生コース(専修各種学校進学・公務員志望)

#### 商業科 <1学級>

【商業探究科(案)】

これまでの伝統を継承し、さらに発展させる。

〔2年次からの科目選択〕

- ・現在の取組を更に発展
- ・進路希望に対応する科目を充実

#### 併設中学校

#### 中学校 <2学級>

自分の将来について考え、そのための基礎・基本となる学力・体力・精神力を養う活動を充実する。

東部地域の中学校からの進学率を60%以上に向上する。

【文武両道(学習や学校行事、部活動の充実)・進路保障(進学・就職ともに夢を叶える一歩を踏み出す)

・スペシャル(専門)教育と強みを横断的に生かすホリスティック(包括)教育による全人教育の実施】

#### ★進路保障の実現

大学進学等にも対応できる学力を保証するとともに、体験的な活動を通して勤労観・職業観を養うことで、進学から就職まで、生徒の多様な進路希望に対応する。

- ・習熟度に応じた授業の実施やきめ細かなカリキュラム編成による学習指導の充実
- ・国公立大学及び難関私立大学への進学に、より対応できる教育課程の充実(普通科の30%が合格)
- ・公務員講座の充実(公務員希望者の80%が合格)
- ・工業科においては、幅広い専門的知識・技術を学ぶ体制の充実を図るとともに、就職支援を強化する。
- ・商業科においては、地域貢献活動や商品開発などを通して専門的知識・技能を学ぶ仕組みを充実させ、就職支援を強化する。 ※工業科及び商業科ともに、就職率100%を達成する。
- ・キャリア教育の充実(職場体験・インターンシップ、講演、ワークショップなど)

#### ★地域を支える人材の育成

- ・安芸市との連携協定による地域協働活動の推進(防災教育やまちづくりなど)
- ・東部地域のことを知り、地域の課題を探究する課題研究等の実施
- ・市町村立中学校との連携

#### ★生徒が切磋琢磨できる環境づくり

- ・地域の実態やニーズ、文化を踏まえた部活動の充実
- ・生徒会活動や体育祭・文化祭等の特別活動の充実

#### 学科や教育課程を改編し統合

安芸中学校・高等学校 (H30.5.1現在)

#### 〔中学校〕

- ・生徒数:139名
- ・1学年:60名(2学級)
- ・東部地域で唯一の県立中学校であり、学力の定着や充実した英語教育を実践している。

#### 〔高等学校〕

- ・生徒数:290名
- ・1学年:普通科(3学級)
- ・東部地域の進学拠点校として、国公立大学や難関私立大学への進学実績がある。

6年間の中高一貫教育校として、実践とノウハウの蓄積

安芸桜ヶ丘高等学校 (H30.5.1現在)

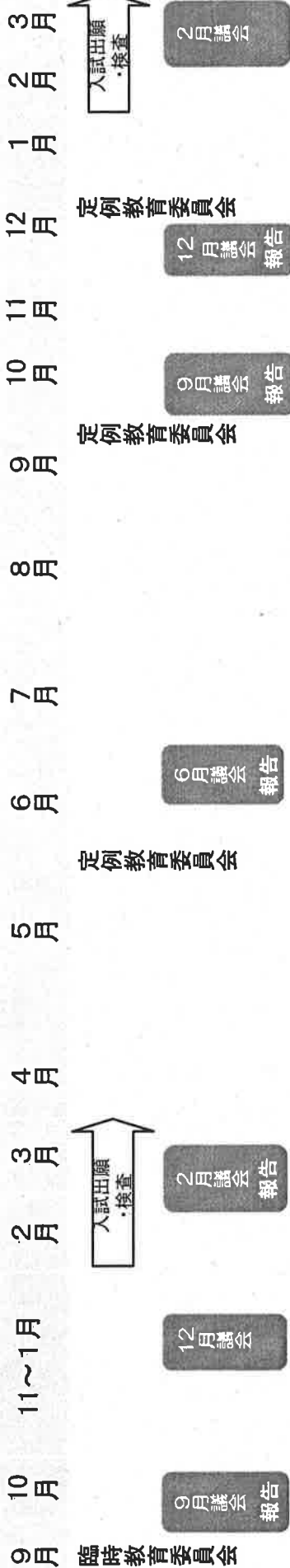
- ・生徒数:95名
- ・1学年:2科(2学級)  
工業科1科【環境建設科】2専攻(1学級)  
(土木専攻・建築専攻)
- 商業科1科【情報ビジネス科】2コース(1学級)  
(ビジネスコース・デザインコース)
- ・東部地域唯一の工業科と商業科を有する学科として、県内外の大手企業への就職等の実績がある。
- 複数の専門学科を併設している強みとノウハウの蓄積



# 県立高等学校再編振興計画 後期実施計画(H31～H35年度)策定スケジュール

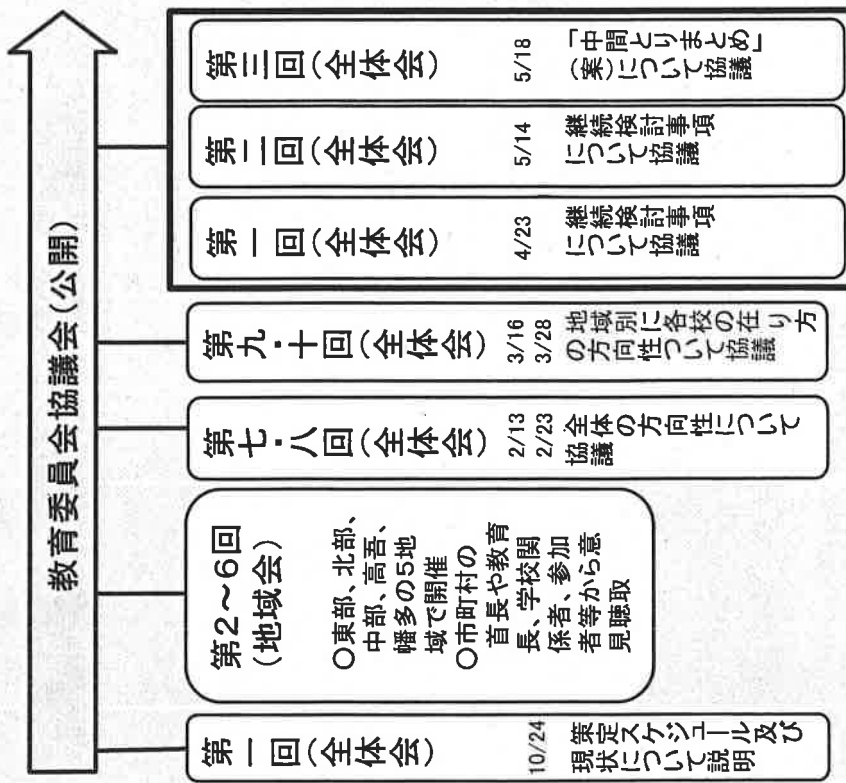
平成29年度

平成30年度

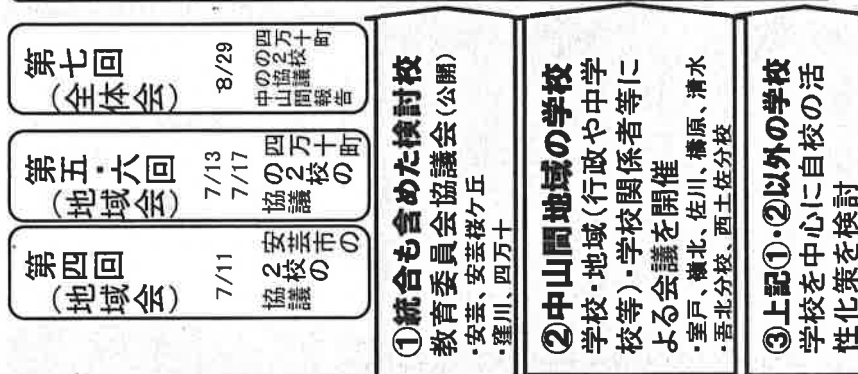


入試・議会・委員会

## 策定スケジュールの協議・決定



## 「中間とりまとめ(たたき台)」決定・公表



## 「最終とりまとめ(パフコム案)」決定

## パブリックコメント(パフコム)実施

必要に応じてパフコムを踏まえた修正等

## 「後期実施計画」策定

冊子配布

周知のための「地区別説明会」開催

